

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
渉外局ホームページの運営、 情報収集	渉外局	1	35 相談・ 助言	自主事業	主催 事業	平成29年4月1日～平 成30年3月31日	玉川病院	一般都民 その他医療従事者 理学療法士	多数	都士会HP	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に資するため、都内在勤の理学療法士の現状把握や法改定も含めた診療報酬・介護報酬等に関する情報収集を行い、都民からの問い合わせに窓口を運営した。局内部間で連携を図り迅速に対応できる体制を整備した。ホームページで情報を開示することで会員のみならず関連他団体等との連携を強化することができた。これらにより理学療法士の質の向上が図れ、広く都民の医療、保健、福祉について貢献した。
国際福祉機器展2017	渉外部	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	共催 事業	平成29年9月27日、28 日、29日	東京ビッグサ イト	総来場者 出展参加理学療法士 うち都士会員数	121,528名 26名 16名	都士会HP	・2017国際福祉機器展 医療福祉に係る不特定多数 が参集する展示会で、展示、相談会、講座などを行う。今年の第44回展示会には、15か国・1地域の527 社・団体が参加出展し、全3日間の来場者は昨年度を上回る121,528名にも及んだ。連日H.C.R.セミナー が開催されたほか、今年度も出展セミナーの1時間枠も申請が通り、生活の仕方がわかる福祉用具と題 して理学療法士の視点からの提案を講演させていただく。出展ブース内においても、理学療法士の視点か ら「自立支援さらに健康寿命を延ばすため」について4つのテーマを掲げプレゼンテーションを行った。
診療報酬、介護報酬に関する 相談・助言	医療報酬 部	1	35 相談・ 助言	自主事業	主催 事業	平成29年4月1日～平 成30年3月31日	杏林大学医学 部付属病院 帝京平成大学	理学療法士 うち都士会員数	3名 3名	都士会HP	理学療法を通じた都民の医療・保険・福祉の増進を目的に、診療報酬改定に関する情報を得るために「診 療報酬改定に関する講習会」に参加した。この内容を部員で周知し、診療報酬に関連する質問の相談に応 えられるようにした。
市区町村介護認定審査員及び 障害認定審査員の推薦事業	福祉保健 局	1	35 相談・ 助言	自主事業	主催 事業	5/2 再提出依頼中	福祉保健局	理学療法士 うち都士会員数	6名 6名	都士会HP 都士会ニュース	市区町村からの介護認定審査員及び障害認定審査員推薦依頼に対して適宜検討し、会員から適切者を選 別、協力依頼した。又、市区町村から審査員における微調整（勤務先変更・審査会時間帯の変更等）要望 にも対応した。
「介護の日」イベント協力事 業	福祉保健 局	1	34 体験 活動等	自主事業	主催 事業	平成29年11月9日	福祉保健局	一般都民 理学療法士 うち都士会員数	25名 12名 12名	都士会HP 都士会ニュース 西東京市市報	11月11日は介護について理解と認識を深め、高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への 啓発を重点的に実施する日として、国より「介護の日」として制定されている。今回は西東京 市で毎年開催している「介護の日イベント」に協力して福祉用具体験・車いす介助体験・リハ ビリ相談コーナーを11月9日に実施した。直接的な対応は25名であるが簡単な紹介、説明を含め ると50名以上の参加者に関わった。
局内調整事業	福祉保健 局	1	35 相談・ 助言	自主事業	主催 事業	平成30年3月5日	福祉保健局	理学療法士	4名	都士会HP 都士会ニュース	局長、次長2名、事務担当1名の4人で平成30年度の当局の活動方針を吟味した。また、小 児福祉部・成人福祉部・高齢者福祉部・健康増進部・介護保険部から出されている平成30年 度事業計画の内容を再確認し、各部への助言内容を検討した。
三士会合同訪問リハビリテー ション実務者研修会	福祉保健 局	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	共催 事業	平成29年11月18日 平成29年11月19日	福祉保健局	その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	15名/25名/23 名 13名/22名/20 名	FAXおよび、東京都理 学療法士協会、東京都作 業療法士会、東京都言 語聴覚士会のニュー ス、HP 初任者研修会での案内	東京都三士会で運営を始め、8回目を迎えた。昨年度と同様に、現任者研修会では、3年目以上、もしくは 初任者研修会修了者の条件を付け、参加者を募集した。参加者数は、この数年と大きな変わりなく、40名 弱であった。本年度は、「他職種に学ぶリスク管理」をテーマとし、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士 による講義形式、「ひやりはっと事例」を受講生自身が持ち寄りグループワークを実施した。地域包括ケ アシステムにおける多職種連携において、他の専門職の視点を学び、具体的連携の在り方、またリスク管 理を学び、セラピストの質の確保へ貢献することができた。来年度も内容を検討し、地域で活動するセ ラピストの要望に応じていく。 今年度は「他職種に学ぶリスク管理」をテーマに開催し、プログラム、講師については以下の通りであ る。 1. 薬剤師に学ぶリスク管理 講師：阿久津 勝則（薬剤師 株式会社アインホールディングス） 2. 看護師に学ぶリスク管理 講師：小川 綾乃（看護師 ソフィア総合ナーステーション城 南） 3. 医師に学ぶリスク管理 講師：由井 和也（医師 佐久総合病院） 4. 管理栄養士に学ぶリスク管理 講師：米山 久美子（管理栄養士 地域栄養サポート自由が丘） 5. グループワーク（ひやり・はっと事例の検討） 講師：粉 紀男（理学療法士 永生会 訪問看護ス テーションひばり）
三士会合同訪問リハビリテー ション初任者研修会	福祉保健 局	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催 事業	平成29年7月8日	福祉保健局	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	30名 30名 22名	都士会HP 都士会ニュース FAX 東京都作業療法士会、 東京都言語聴覚士会の ニュース、HP	昨年度に引き続き、これから訪問を始めるPT・OT・STに向けた、評価、プログラム、リスク管理を柱に した研修会を開催した。訪問分野で従事する人材を増やすこと、その質を高めることが、都民を地域で支 えるために重要である。職場人数の少ない事業所も多いため、新任訪問療法士の教育の場の提供になった。 プログラム、講師については以下の通りである。 1. 訪問リハビリテーションにおける評価 講師：中本久之（作業療法士 帝京平成大学 助教） 2. グ ループワーク 活動・参加にむけたプログラム講師：倉科 巧（理学療法士 ガイアリハビリ訪問看護ス テーション） 3. 訪問リハビリテーションにおけるリスク管理 講師：堀田富士子（医師 東京都リ ハビリテーション病院 科長）
都内高齢者の実態調査	高齢者福 祉部	1	36 調査・ 資料収集	自主事業	主催 事業	平成30年3月26日	田無病院	理学療法士 うち都士会員数	4名 4名	都士会HP	都内高齢者実態調査をインターネットにて実施。高齢者の関係する施設とリハ（PT）の関わりについて確 認した。
第2回子どもの福祉機器展	小児福祉 部	1	39 展示会 (〇〇ショー)	自主事業	主催 事業	平成29年10月28日	エスフォルタ アリーナ八王子	一般都民 理学療法士/ うち都士会員数	70名 20名 10名	都士会ニュース 小児リハビリに関係す る各メーカーリスト 東京都作業療法士会、 言語聴覚士会	10月28日（土）に「エスフォルタアリーナ八王子」にて小児福祉部主催の「子どもの福祉機器展」を開催 した。 補装具業者13社にご協力頂き、当日は、30組約70名の方が来場した。 アンケートからは、「各社の車いすを見比べることが出来て良かった」、「じっくりと見ることができて よかった」などが挙がり、 来年度も継続開催を望む声が多く聞かれた。

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
平成30年度 第17回子どもの福祉機器展(キッズフェスタ) 出展準備	小児福祉部	1	39 展示会(〇〇ショー)	自主事業	主催事業	平成29年10月20日 平成29年11月17日 平成29年12月15日 平成30年1月12日 平成30年2月16日	ルノアール新宿三丁目ビックスビル店(10/20、11/17、12/15、1/12) 東京都作業療法士会事務局(2/16)	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	70名/6名/6名 0名/8名/8名 0名/8名/8名 0名/7名/7名 0名/3名/3名	主催ホームページに掲載	平成30年4月14日、15日開催予定に向けて準備を行った。展示内容の検討、新しいアイデアグッズ集の作成準備、お出掛けマップの情報収集、3士会合同セミナーの企画をした。
リハビリ相談会、体操教室、体力測定	健康増進部	1	35 相談・助言	自主事業	共催事業	平成29年11月11日 平成30年3月16日	西東京いこいの森公園 西東京市役所	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	202名/10名/0名 18名/10名/10名	西東京市広報ホームページチラシ	西東京市民まつりにブースを開いてリハビリ相談会、リハビリ体操教室、体力測定会を開催した。体力測定会では、文科省が推奨する6種目(①握力②上体起こし③長坐体前屈④反復横跳び⑤急歩⑥立ち幅跳び)を実施した。測定結果については健診より得られている生化学データと合わせて専門的視点から個々に問題点等を挙げ提示するとともに今後6か月間の運動メニューを個々に処方した。
PTフェスタ2017	外宣部	1	38 キャンペーン(〇〇月間)	自主事業	主催事業	平成29年7月29日	東京都庁45F南展望室	一般都民 理学療法士 うち都士会員数	1,000名 15名 14名	都士会HP 都士会ニュース	今年も東京都の協賛を頂き開催した。東京都の職員の方々の協力や多くの東京都理学療法士協会会員の参加により無事に行われた。今年には疾患に関する情報や疾患に対する理学療法士の関わりを掲載したものでなく、具体的な体操や運動指導内容についても掲載した。そして新たに自治体と理学療法士の関わり方を掲載したものを展示した。社会に対する理学療法士の役割や活躍する場面を紹介することができた。開催中の出来事としては、現在リハビリを受けているという方や腰の痛みに悩まされている方から展示内容にある体操や運動についての質問があった。そして観光として訪れた方の中には、現在理学療法士として活躍されている方もあり、東京都理学療法士協会がこのような活動をしていることを周知することができた。今回理学療法士が社会と関わる場面として自治体やスポーツイベントでの理学療法士のボランティア活動などを掲載したことで、より多くの展示ができた。このことから、今後様々な分野での活動報告の展示するよう検討する。またより多く周知するために、開催中の配布資料などを充実させていく。
看護フェスタ2017	外宣部	1	39 展示会(〇〇ショー)	自主事業	共催事業	平成29年5月13日	新宿西口広場	理学療法士 うち都士会員数	8名 8名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に資するため、東京都看護師協会が主催する「ナースフェスタ」にて都民を対象とした健康相談事業を実施した。具体的な相談内容としては、医療保険や介護保険などの具体的な理学療法施行場面や内容に関する相談に対応した。また、身体機能面の悩みや問題、家族の状況に対する、運動療法・理学療法に関する相談にも対応した。
都内各種イベントサポート	外宣部	1	39 展示会(〇〇ショー)	自主事業	主催事業	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	都内各所	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	3,000名 300名 250名 220名	都士会HP 都士会ニュース	都民の医療・保健・福祉の増進に資するため、高等学校・資格相談セミナーなど、リハビリテーション・理学療法士の説明会・相談会に対し本会会員である理学療法士を派遣した。また、理学療法に関する紹介チラシを作成し配布した。さらに各地域で行われるイベントに参加し、様々な相談に応じた。具体的な相談内容は、①高等学校低学年の職業選択に至るまでの情報提供、②具体的な進路選択をする際の養成校選択や養成校カリキュラム等の情報提供、③リハビリテーション、理学療法士の職域や仕事内容 資格取得までの流れについて、④身体機能障害に対する相談・助言、⑤健康・運動指導などを行った。また、各種ノベルティの作成も行った。
都士会ホームページ維持・管理	外宣部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	社会医学技術学院	一般都民 理学療法士 うち都士会員数	226,903名 (年間アクセス数)	都士会HP 都士会ニュース	都民の医療・保健・福祉の増進に資するため、本会ホームページ閲覧者が情報を得やすいように維持管理を行った。ホームページの内容は公益事業の案内を主とする。また、本年度はホームページのリニューアルを行い、都士会員、都民に閲覧・使用しやすいホームページを作成した。

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
東京都のスポーツ場面における理学療法を通じたサポート活動の啓蒙	国際競技大会・スポーツ理学療法推進部	1	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成29年4月1日 平成29年4月15日 平成29年6月18日 平成29年9月21日～平成29年9月23日 平成29年12月11日	スペイシー(4/1) 練馬文化センター(4/15、6/18) ホクト文化ホール(9/21～9/23) 東京体育館(12/11)	理学療法士/ うち都士会員数	9名/9名 4名/4名 116名/116名 12名/2名 33名/33名	都士会ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進のため、以下の学会においてスポーツ領域での理学療法の情報の発信と収集を行った。 1) 第36回東京都理学療法学会 ①スポーツ局各部の活動報告ポスター展示 内容：スポーツ局各部の活動と富士見台小学校プロジェクトについての活動報告ポスターを掲示し、自由観覧形式とした。 ②動画報告 内容：昨年度開催されたリオデジャネイロ五輪の競技会場や選手村、街並みなどの動画、太田雄貴選手プロモーションフェンシング動画、体づくりのために実施している富士見台体操を動画として紹介した。 ③東京都障害者スポーツ協会資料の配布 内容：障害者スポーツコンシェルジュ、障害者スポーツ地域パワーアップ事業、東京都障害者スポーツセンターについてのパンフレットを配布した。 ④相談コーナー 内容：今後スポーツ理学療法に関わりたい方に対し、スポーツ局員、ブロックスポーツ担当者と質疑応答を行った。20名の都士会員からの相談があった。 *来年度の都学会においてもポスターでの活動報告を行う方針となった。 2) 第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会 ・日時：平成29年9月23日15時～16時 ・会場：ホクト文化ホール(長野県) 第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会会期中に各士会のスポーツ担当による会議に東京都理学療法士協会として板倉次長が出席した。当日は東京オリンピック・パラリンピックに向けた日本理学療法士協会事業計画の情報提供、および各士会から活動報告がなされた。2020年に向けて関東甲信越ブロックが協力体制をとり連携した事業計画を進めるとの話し合いがなされた。 3) 来年度事業計画検討会議 ・日時：平成29年12月11日(月)19時～21時 ・場所：東京体育館第四会議室 ・出席者：林局長、板倉次長、鈴木副部長、ブロック部・支部スポーツ担当者、渡邊・水石部員 ・内容：2020東京オリンピック・パラリンピックに向けての情報提供 平成30年度事業計画案およびブロック部・支部への協力依頼 来年度より東京都内におけるスポーツ関連事業はブロック部・支部との協力・連携が必要のため、オリンピック・パラリンピック関連の情報提供および平成30年度事業計画案について説明し協力依頼を行う会議を行った。
競技大会(フェンシング・バレーボール)会場サポート事業	国際競技大会・スポーツ理学療法推進部	1	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成29年6月3日 平成29年5月4日 平成29年5月5日 平成29年5月11日・平成29年5月12日・平成29年5月15日・平成29年5月16日・平成29年5月23日・平成29年5月24日・平成29年5月25日 平成29年5月20日 平成29年5月21日 平成29年5月27日 平成29年5月28日 平成29年6月17日 平成29年6月18日 平成29年7月1日 平成29年7月2日 平成29年7月15日 平成29年7月16日 平成29年7月22日 平成29年7月23日 平成29年7月24日 平成29年8月5日 平成29年8月13日～平成29年8月16日 平成29年9月2日 平成29年9月3日 平成29年9月4日 平成29年9月9日 平成29年9月10日 平成29年10月7日 平成29年10月8日 平成29年10月11日 平成29年10月12日 平成29年10月17日 平成29年10月18日 平成29年10月14日 平成29年10月15日 平成29年10月29日 平成29年11月2日 平成29年11月4日 平成29年11月15日 平成29年11月16日 平成29年11月17日	駒沢オリンピック公園総合運動場体育館(5/3、5/4、5/5、5/11・5/12・5/15・5/16・5/23・5/24・5/25、7/22、10/11、10/12、10/17、10/18、11/12、11/14、11/15、11/16、11/17、12/10) 大蔵第二運動場体育館(5/20、5/21、6/17、6/18、7/1、7/2、7/9、7/15、7/16、7/24、9/9、9/10、10/7、10/8、10/29) 台東リバーサイドスポーツセンター(5/27、5/28) 東京農業大学桜ヶ丘アリーナ(7/22) スペイシー(8/5) 長野県北安曇郡白馬村八方文化会館(8/13～8/16) 千葉県立松戸高校(9/2、9/3、10/14、10/15)	一般都民/ その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	265名/2名/4名/4名 265名/2名/4名/4名 247名/1名/4名/4名 32名/1名/0名/10名 74名/0名/3名/3名 152名/0名/3名/3名 120名/0名/4名/4名 90名/0名/3名/3名 15名/0名/4名/4名 82名/0名/2名/2名 262名/0名/4名/4名 131名/0名/4名/4名 84名/0名/4名/4名 202名/0名/3名/3名 128名/0名/4名/4名 293名/1名/1名/1名 30名/1名/3名/3名 170名/1名/1名/1名 0名/0名/5名/5名 58名/0名/1名/1名 70名/0名/4名/4名 75名/0名/3名/3名 0名/0名/14名/14名 142名/0名/4名/4名 151名/0名/4名/4名 134名/0名/4名/4名 78名/0名/5名/5名 18名/0名/2名/2名 27名/0名/2名/2名 27名/0名/3名/3名 8名/0名/3名/3名 65名/0名/4名/4名 68名/0名/5名/5名 114名/1名/5名/5名 12名/1名/2名/2名 34名/1名/3名/3名 26名/0名/3名/3名 27名/0名/3名/3名 96名/0名/4名/4名	都士会ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的とし東京都フェンシング協会から依頼されたフェンシングの大会会場での会場サポートを実施した。大会期間中は医師や看護士とともに理学療法士が医務室に待機した。なお、この理学療法士の選出については事前に応急処置とフェンシングの講習会を受講した方から選考した。 サポート活動を行った大会とサポート件数は以下の通りである。 1) 第18回東日本少年大会 兼 第49回東京都少年フェンシング個人選手権大会(5月3～5日) 大会期間中は日中の気温が上昇し、屋内競技手も熱中症の危険性が高まったため、参加選手全員(777名)に対し、熱中症予防のため飲水を促した。 ・医務室にて大会中に起こった傷害(16件)に対し、アイシング、ストレッチング、傷の手当てを実施した。 ・試合中に起こった急性外傷(15件)に対してinjury timeの中でアイシング、ストレッチング、傷の手当てを実施した。 2) 第70回関東学生フェンシング連盟リーグ戦(5月11、12、15、16、23、24、25日) ・医務室にて大会中に起こった傷害(22件)に対し、アイシング、ストレッチング、傷の手当てを実施した。 ・試合中に起こった急性外傷(10件)に対してinjury timeの中でアイシング、ストレッチング、傷の手当てを実施した。 3) 第24回東京都カデ男子エベ個人選手権大会 兼 第20回東京都カデ女子エベ個人選手権大会(5月20日) ・大会期間中は日中の気温が上昇し、屋内競技手も熱中症の危険性が高まったため、参加選手全員(74名)に対し、熱中症予防のため飲水を促した。 ・教護ブースにて大会中に起こった傷害(1件)に対し、傷の手当てを実施した。 ・試合中に起こった急性外傷(1件)、熱中症(1件)に対してinjury timeの中でアイシング、テーピング、飲水の促しをおこなった。 4) 第30回東京都シニア女子エベ個人選手権大会、第24回東京都シニア女子サークル個人選手権大会(5月21日) 大会期間中は日中の気温が上昇し、屋内競技手も熱中症の危険性が高まったため、参加選手全員(152名)に対し、熱中症予防のため飲水を促した。 ・教護ブースにて大会中に起こった傷害及び熱中症(18件)に対し、アイシング・テーピング・ストレッチ・傷の手当てを実施した。 ・試合中に起こった急性外傷(4件)に対してinjury timeの中でアイシング、テーピング、飲水の促しをおこなった。 5) 第70回国民体育大会(5月27、28日) 大会期間中は日中の気温が上昇し、屋内競技手も熱中症の危険性が高まったため、参加選手全員(210名)に対し、熱中症予防のため飲水を促した。 ・教護ブースにて大会中に起こった傷害及び熱中症(15件)に対し、アイシング・テーピング・傷の手当て・飲水の促しを実施した。 ・試合中に起こった急性外傷・熱中症(3件)に対してinjury timeの中でアイシング・テーピング・傷の手当て・飲水の促しを実施した。 6) 第72回国民体育大会(6月17、18日) 大会期間中は日中の気温が上昇し、屋内競技手も熱中症の危険性が高まったため、参加選手全員(97名)に対し、熱中症予防のため飲水を促した。また、ウォームアップやクールダウンの重要性についても選手にアナウンスした。 ・教護ブースにて大会中に起こった傷害及び熱中症(13件)に対し、アイシング・テーピング・傷の手当てを実施した。 7) 東京都選手権大会シニア男子エベ・シニア男子サークル・シニア男子フルール(7月1、2日) 大会期間中は雨・曇りであり湿度が高い状態であった。屋内競技手も熱中症の危険性が高まったため、参加選手全員(393名)に対し、熱中症予防のため飲水を促した。また、日頃の練習などで身体の痛みなど困っていることがあれば相談にのることをアナウンスした。 8) 東京都選手権大会シニア女子フルール(7月9日) 大会期間中は日差しが強く、湿度が高い状態であった。屋内競技手も熱中症の危険性が高まったため、参加選手全員(84名)に対し、熱中症予防のため飲水を促した。 ・大会中に起こった傷害及び熱中症に対し、教護ブースで5件対応し、試合中のinjury timeの対応2件に対し、アイシング・テーピング・傷の手当て等を実施した。 9) 2017年度東京都選手権大会カデ男子フルール、サークル女子フルール、サーブル(7月15、16日) 大会期間中は日差しが強く、湿度が高い状態であった。屋内競技手も熱中症の危険性が高まったため、参加選手全員(330名)に対し、熱中症予防のため飲水を促した。 ・大会中に起こった傷害及び熱中症に対し、教護ブースで24件対応し、試合中のinjury timeの対応1件に対し、傷の手当て等を実施した。 10) 第3回全国中学生フェンシング選手権大会(7月22、24日) 大会期間中はアリーナ内は空調が稼働していたが、屋内競技手も防具を着込んでいることもあり、熱中症の危険性があったため、参加選手全員(463名)に対し、熱中症予防のため飲水を促した。 ・大会中に起こった傷害及び熱中症に対して教護ブースで11件対応し、試合中のinjury timeの対応は2件でありアイシング等を実施した。 11) 第4回常盤松フェンシング・エベ選手権大会(7月23日) 大会期間中は気温が高い状態であった。屋内競技手も熱中症の危険性が高まったため、参加選手全員(30名)に対し、熱中症予防のため飲水を促した。 ・大会中に起こった傷害に対し、教護ブースで2件、アイシングや傷の手当てを実施した。 12) 平成29年度東京都ジュニア強化合宿(8月13～16日) 大会期間中の気温は25度程度であったが、体育館内で防具を纏った状態での競技であるため熱中症予防のために参加選手全員(58名)に対し、飲水を促した。 ・合宿中に起こった(競技中及び宿泊施設内にて)傷害に対し22件の応急手当を実施し、そのうち1件は医療機関へ受診して頂いた。また、指導としてストレッチ・トレーニング方法指導も5件実施した。 13) 第70回全日本選手権大会個人戦 南関東予選会(9月1、2日) 大会が行われた体育館は空調がなく、熱がこもりやすい状態であったため、屋内競技手も熱中症の危険性が高いと判断し、参加選手全員(145名)に対し、熱中症予防のため飲水を促した。 ・大会中に起こった傷害に対し、試合中のinjury timeに2件、教護ブースで20件、アイシングやストレッチ、傷の手当てを実施した。また、選手にストレッチ方法やコンディショニングの相談を受けることもあった。 14) 2017年度東京都選手権大会ジュニア男子エベ・女子サーブル、男子サーブル・女子エベ(9月9、10日) 大会が行われた体育館は空調があり室温は23～24度に保たれていたが、フェンシングは防具を着込み、熱がこもりやすい状態であるため、屋内競技手も熱中症の危険性が高いと判断し、参加選手全員(293名)に対し、熱中症予防のため飲水、身体の不調に対して教護ブースに立ち寄るようにアナウンスした。 ・大会中に起こった傷害は試合中のinjury timeに2件、教護ブースで24件であった。それらに対しアイシングやテーピング、ストレッチ、傷の手当てを実施した。また、選手にストレッチ指導も実施した。 15) 2017年度東京都選手権大会ジュニア男子フルール、女子フルール(10月7日、8日) 大会が行われた体育館は空調があり室温は21～22度、2日目目は24～25度に保たれていたが、フェンシングは防具を着込み、熱がこもりやすい状態であるため、屋内競技手も熱中症の危険性が高いと判断し、参加選手全員(214名)に対し、熱中症予防のため飲水、身体の不調に対して教護ブースに立ち寄るようにアナウンスした。 ・大会中に起こった傷害は試合中のinjury timeに1件、教護ブースで10件であった。それらに対しアイシングやテーピング、ストレッチ、傷の手当てを実施した。また、選手にストレッチ指導も実施した。 16) 第69回関東学生フェンシング選手権大会(10月11日、12日、17日、18日) 大会中に起こった傷害は試合中のinjury timeに8件、教護ブース及び医務室での対応は72件であった。それらに対しアイシングやテーピング、ストレッチ、傷の手当てを実施した。また、選手にコンディショニングやストレッチ指導も実施した。 17) 第70回全日本フェンシング選手権大会南関東予選会(10月14日、15日) 大会が行われた体育館は空調がないため熱がこもりやすい状態であったため、屋内競技手も熱中症の危険性が高いと判断し、参加選手全員(133名)に対し、

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
						平成29年11月18日 平成29年11月19日 平成29年11月26日 平成29年12月10日 平成30年1月27日 平成30年1月28日 平成30年2月8日	アットビジネスセンター池袋駅前本館 (9/4、2/8) 大田区立総合体育館 (11/18、11/19) 青山学院大学相模原キャンパス A棟アリーナ (11/26) BumBスポーツ文化館 (1/27、1/28)		77名/0名/3名/3名 78名/0名/3名/3名 83名/1名/3名/3名 8名/0名/2名/2名 29名/0名/6名/6名 25名/0名/6名/6名 0名/0名/32名/32名		熱中症予防のため飲水、身体の不調に対して看護ブースに立ち寄るようにアナウンスした。 ・大会中に起こった傷害は試合中のinjury timeに1件、看護ブースで11件であった。それらに対しアイシングやテーピング、ストレッチ、傷の手当てを実施した。また、選手の怪我の相談にも対応した。 18) 第25回JOC東京都予選会(10月29日) ・フェンシング競技は防具を着込み、熱がこもりやすい状態であったため、屋内競技も熱中症の危険性が高いと判断し、参加選手全員(114名)に対し、熱中症予防のため飲水、身体の不調に対して看護ブースに立ち寄るようにアナウンスした。 ・大会中に起こった傷害は試合中のinjury timeに1件、看護ブースで4件であった。それらに対しアイシングやテーピング、ストレッチ、傷の手当てを実施した。 19) 高円宮杯ワールドカップ男子個人(11月12日) ・大会中に起こった傷害は試合中のinjury timeに4件、医務室での対応8件であった。それらに対しアイシングやテーピング、ストレッチ、傷の手当てを実施した。 20) 第57回全日本大学対抗選手権大会(11月14日から17日) ・大会中に起こった傷害は試合中のinjury timeに10件、看護ブース及び医務室での対応103件であった。それらに対しアイシングやテーピング、ストレッチ、傷の手当てを実施した。 21) 第18回全日本ベテラン選手権大会 兼 第34回滝口杯争奪ベテラン選手権大会(11月18日、19日) ・大会が行われた体育館は空調があり室温は19~20度に保たれていたが、フェンシングは防具を着込み、熱がこもりやすい状態であるため、屋内競技も熱中症の危険性が高いと判断し、参加選手全員(155名)に対し、熱中症予防のため飲水、身体の不調に対して看護ブースに立ち寄るようにアナウンスした。 ・大会中に起こった傷害は試合中のinjury timeに1件、看護ブースで28件であった。それらに対しアイシングやテーピング、ストレッチ、傷の手当てを実施した。また、選手にコンディショニング指導も実施した。 22) 第17回 北関杯フェンシング選手権大会(11月26日) ・大会が行われた体育館は空調があったが、フェンシングは防具を着込み、熱がこもりやすい状態であるため、屋内競技も熱中症の危険性が高いと判断し、参加選手全員(83名)に対し、熱中症予防のため飲水、身体の不調に対して看護ブースに立ち寄るようにアナウンスした。 ・大会中に起こった傷害は試合中のinjury timeに2件、看護ブースでの対応8件であった。それらに対しアイシングやテーピング、ストレッチ、傷の手当てを実施した。 23) 第70回全日本フェンシング選手権大会(12月10日) ・大会中に起こった傷害は試合中のinjury timeに3件、医務室での対応5件であった。それらに対しアイシングやテーピング、ストレッチ、傷の手当てを実施した。 24) TOKYO OPEN FENCING2018 兼 第3回港区フェンシング選手権大会(1月27日、28日) ・大会中に起こった傷害は試合中のinjury timeに10件、看護ブースでの対応44件であった。それらに対しアイシングやテーピング、ストレッチ、傷の手当てを実施した。 ・理学療法士を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的とし9月4日、2月8日に上半期フェンシング大会サポート報告会及び下半期フェンシング大会サポート報告会を実施した。 ・報告会には9月4日は14名、2月8日は32名が参加した。なお、参加した理学療法士はフェンシング会場サポートに参加している者、スポーツ局部員、ブロック部のスポーツ担当に出席して頂いた。 ・報告会ではフェンシング大会サポート活動報告として、大会数、参加スタッフ数、対応した選手数、情報共有が必要と思われる事例報告、会場となる施設の環境についての情報共有、東京都ジュニア合宿についての報告、新規購入物品についての報告、及び使用方法の確認、スポーツ現場での活動に必要なスキル、On-the-Job-Trainingについて検討した。
士会員の業績調査・資料作成	表彰審査委員会	1	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成29年11月21日	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	理学療法士	10名	メールで問い合わせ等	理学療法士がリハビリテーション専門職として過疎地医療・小児医療・地域医療・社会福祉などに重要な役割を担っていることを広く都民に啓発するために、国・都または各種団体が主催する表彰事業に関して協力して、表彰事業に応募するための理学療法士の個人または団体における業績を調査して、資料を整理した。
各種機関の表彰に関する候補者の推薦	表彰審査委員会	1	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成30年1月15日	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	理学療法士	5名	都士会ニュース	理学療法士がリハビリテーション専門職として過疎地医療・小児医療・地域医療・社会福祉などに重要な役割を担っていることを広く都民に啓発するために、国・都または各種団体が主催する表彰事業に関して協力して、表彰事業に応募した。
お問い合わせに対する回答検討および報告会	都民の声委員会	1	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成29年4月26日 平成29年6月23日 平成30年2月20日	東京衛生学園専門学校	理学療法士/ うち都士会員数	9名/9名 7名/7名 7名/7名	都士会HP	<p><4月26日開催> 都民からの相談内容についての報告と相談。 相談内容 ・脊柱管狭窄症手術後、不活発病および症状が軽快しないことへの不安 ⇒士会HPより、リハマップ参照の紹介をした。</p> <p><6月23日開催> 都民からの相談内容についての報告と相談。 相談内容 日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会の活動に対して、都内の養成校で協力できるかということについて、都民の声委員会が窓口になり、問い合わせることとなった。 *ケアリングコミュニティ学会から当協会に対する起案があり、当該学会員と養成校の学生との座談会を設けたり、学会員自身が模擬患者になったりすることで、理学療法士の学生教育に寄与したいという提案した(有償)。</p> <p><2月20日開催> 本年度報告および今後の対応方針 ・本年度の問い合わせの件数が減少した。 ・従来より、相談内容についてはケースバイケースでの対応としている。このことについては、業務の性質上、致し方が無い。 ・リハマップの利用をご案内しているが、その後、問い合わせ者がどのようになっているのかが不明であり課題とした。</p>
都民の声委員会 賀詞交歓会	都民の声委員会	1	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成30年1月26日	ヒルトン東京	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	67名 8名 78名 78名	メール 郵送	<p><1月26日開催> 平成29年度 東京都理学療法士協会 賀詞交歓会 開催 期日：平成30年1月26日(金) 19:00~ 会場：ヒルトンホテル東京 『大和』 参加者：来賓75名、都士会員78名 (合計：153名)</p>
第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会	災害対策委員会	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年9月23日 平成29年9月24日	ホクト文化ホール	理学療法士 うち都士会員数	1名 1名	都士会HP	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会にて東京都理学療法士協会災害対策委員会の活動報告を行った。発表を通じて、都民・都士会員へ災害の啓蒙活動を実施した。

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	フェックボ イン	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
災害リハビリテーション啓発 研修会	災害対策 委員会	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催 事業	平成30年2月9日	中野サンプラザ	一般都民 理学療法士 うち都士会員数	5名 26名 25名	都士会HP	武蔵野赤十字病院の伊東彰先生より、「リハビリテーション専門職種としての災害職種の取り組みと東京都モデル事業」をテーマに研修会を行なった。 東京都においても災害は起こりえることで、被災側の対応や備えについての講義があり、その中でも自身が暮らしている地域・働いている地域の特性を平時から理解している事の重要性を中心に講義を実施した。
災害リハビリテーション研修 会	災害対策 委員会	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催 事業	平成30年2月23日	中野サンプラザ	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	3名 20名 19名	都士会HP	国立病院機構災害医療センターの小早川義貴先生より「被災地の現状」をテーマに研修会を行った。 発災時から現在までの被災地の問題やその解決策など、具体的な話・経験を交えながら講義を実施した。
地域災害リハビリテーション 研修会	災害対策 委員会	1	34 体験 活動等	自主事業	主催 事業	平成30年3月4日	府中市立第四中学校	理学療法士 うち都士会員数	1名 1名	都士会HP	府中市の総合防災訓練に参加し、平時からの行政の取り組みを視察・体験した。 内容としては、初期消火訓練・応急救護訓練・炊き出し訓練など実施し、消防庁による消化訓練や救出訓練を見学した。
災害時安否確認システム予行 演習	災害対策 委員会	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催 事業	平成29年9月1日～ 平成29年9月8日 平成30年3月11日～ 平成30年3月18日	総合東京病院	理学療法士/ うち都士会員数	691名/674名 691名/674名	都士会HP	災害時に会員の安否を確認すること、各地域の被災状況の情報収集を行う目的で安否確認システムを実施した。 平成29年9月は381名（都士会員370名）、平成30年3月は310名（都士会員304名）からの回答があった。
第8回JIMTEF災害医療研修ペー シクコース	災害対策 委員会	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催 事業	平成29年6月3日 平成29年6月4日	独立行政法人国際 協力機構関西国際 センター	理学療法士/ うち都士会員数	1名/1名 1名/1名	都士会ニュース	災害医療の概論・災害時のメンタルケア・東日本大震災・熊本地震の活動報告などの内容の研修を受講した。 研修会の内容を今後の災害対策委員会の活動に活かし、都民・都士会員への災害対策、啓蒙活動に繋げた。
理学療法に関する相談・助言 会接遇研修会	理学療法 政策検討 委員会	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催 事業	平成30年3月9日	東京都理学療法士 協会事務所	一般都民 理学療法士	10名 10名	チラシ配布	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、平成30年3月9日に「理学療法に関する相談・助言会接遇研修会」を開催した。講師に豊田 輝先生を迎え、10名の理学療法士を相談・助言者とし、電話と事務所内対応という形をとり、10名の都民に対して専門的な立場から助言を行った。
リハビリテーション専門職合 同健康フォーラム	三士会 (リハ専 門職)連 携推進委 員会	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催 事業	平成29年10月22日	国士舘大学世田谷 キャンパス	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	81名 45名 50名 45名	都士会HP 世田谷区報への掲載、 世田谷区を含む近隣 区・市の役所・地域包 括支援センター・児童 館等へのチラシ配布、 OT士会・ST士会HP掲 載、東京新聞掲載	都民の医療・保健・福祉の増進を常に目指すが、病気になったり障害が生じたりした時に関わるだけでなく、日頃から身近な専門職としてPTが都民(地域の皆様)の介護予防や健康増進の効果を上げること、都民の健康に関する不安を解消する機会を作ることを目的とした事業を実施。健康増進への関心の高さだけでなく、東京都医師会・世田谷区医師会・玉川医師会・世田谷区から後援を受け、地域のリハ職と協働した。台風が近づくと悪天候にも関わらず81人の一般の方々が来場された。 2人の医師の講演、当事者の講演を行なった。反省点としては、地域尾リハ職と協働で開催することが初めての試みであったため、細かい連携について確認が必要だった部分もあり、次回以降の参考にしていく課題とした。
三士会の組織化へ向けての事 業	三士会 (リハ専 門職)連 携推進委 員会	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催 事業	平成29年4月13日 平成29年6月6日・ 平成29年12月6日・ 平成30年2月28日	喫茶室ルノアール 新宿区役所横店 (貸会議室) PT士会事務局・ TKP新宿カンファ レンスセンター	その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	6名/6名/6名 5名/6名/6名	三士会の関係者へメー ルで連絡	都民の医療・保健・福祉の増進を目指し、地域包括ケアシステムの構築の中で、健康増進や介護予防において理学療法士が関わることで、いつまでも住み馴れた場所で生き生きと暮らし続けることができるよう支援することができる組織づくりが目的の事業を実施した。 理学療法士を含めたリハ職の事業への供給体制も検討する必要がある、三士会の組織化の話し合いが必要。そこで、三士会で「リハビリテーション専門職協議会」を立ち上げた埼玉県士会から、専門職協議会の会長岡持先生を講師に迎え、三士会の役員向けに座談会を開催。埼玉県での状況を説明、東京都士会での進め方を意見交換した。
地域包括ケアシステム推進に 関するリーダー制度の事業	地域包括 ケアシス テム推 進委員 会	1	34 体験 活動等	自主事業	主催 事業	平成29年5月20日 平成30年2月10日	社会医学技術学院 TKP新宿カンファ レンスセンター	理学療法士/ うち都士会員数	50名/49名 44名/43名	都士会HP FAX通信 都士会ニュース	都民の医療・保健・福祉の増進を目指し、地域包括ケアシステムの構築の中で、都民の健康増進や介護予防における効果を支援することを目的とした。 (1) 地域包括ケアシステム推進の導入研修を実施。①講師：内田委員・石塚委員・田代委員・青木委員 ②内容： 地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護予防の視点を持ち、都民の保健・福祉と健康増進ができるように、地域リハビリテーションに関わるPTを育成する事業を実施。個別ケア会議で、疾患の特徴や生活機能のアセスメントから自立支援のアドバイスができるよう、ケア会議の演習を取り入れ、より実践的に行った。

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
地域包括ケアシステムに対応できる人材育成事業	地域包括 ケアシステム推 進委員会	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年7月21日 平成29年9月2日 平成30年2月19日	東京医科歯科大学 社会医学技術学院 日本リハビリテ ーション専門学校	その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	0名/91名/89名 7名/26名/24名 0名/14名/14名	都士会ニュース 都士会HP FAX通信等	都民の医療・保健・福祉の増進を目指し、健康増進や介護予防においても理学療法士が関わることで、住み馴れた地域で生き生きといつまでも暮らし続けることができるよう支援する事業を実施した。 (1)第1回フォローアップ研修会：講師①東京都福祉保健局高齢社会対策部 鈴木 悠人氏、 テーマ：東京都29年度の介護予防における新事業について 講師②河北医療財団 桐林 亜希子先生、 テーマ：介護予防による地域づくり推進員の活動について 内容：地域包括ケアシステムに向けて総合事業が始まると、都内のどの地域でも、理学療法士が地域リハ支援事業に参加し、求められることに対応できるよう実践的な研修を実施。地域包括ケアリーダー制度の導入研修修了者と、各区市の支部関係者との顔合わせをし、現在の活動内容や自治体との連携について検討した。今後の地域活動の進め方や自治体が求める事業や健康講座を想定し、企画・運営の立案等をグループワークで作成した。 都民の医療・保健・福祉の増進を目指し、健康増進や介護予防においても理学療法士が関わることで、地域で生き生きと暮らし続けることができるよう支援する事業と支援できる人材育成を実施した。 (2)基礎研修会：導入研修は、新人教育プログラム修了者が対象。経験が浅い方や地域事業に関わったことが無い方など、地域包括ケアシステムの構築に関心のある方ならば誰でも受講できる地域包括ケアを知る第1歩の研修会として開催。講義① 地域包括ケアシステムの現在 講師：東京都健康長寿医療センター研究所 東京都介護予防推進支援センター副センター長 中村 睦美 先生 講義② 地域包括ケアシステムとの関わり方（演習）講師：東京都リハビリテーション病院 嶋田 浩平 先生 地域ケアシステムについてわかりやすい説明と東京都の現在の状況についての講義を実施。（講義内容：東京都における各地域で、高齢者の自立支援と重度化防止について理学療法士の関わり方。） 都民の医療・保健・福祉の増進を目指し、健康増進や介護予防においても理学療法士が関わることで、地域で生き生きとその人らしく暮らし続けることができるよう支援することが目的として実施した。 (3)第2回フォローアップ研修会：講師：河野 博之 先生（日の出町/大久野病院）石原 宏城 先生（台東区/浅草病院）平野 正仁 先生（墨田区/東京都リハビリテーション病院）による、各自自治体での活動報告とパネルディスカッションを実施。内容は既に各推進リーダー導入研修を修了した方が地域にてどのように活動しているか、また活動に際し難しかった点を講演し、実際の問題点や解決方法などを議論した。
国際福祉機器展視察	理学療法 関連機器 開発委員 会	1	36 調査・ 資料収集	自主事業	主催事業	平成29年9月27日～ 平成29年9月29日	東京ビックサイト	来場者 理学療法士 うち都士会員数	121,528名 3名 3名	都士会HP 都士会ニュース	今年度、開催された国際福祉機器展にて発表されている新製品や開発の傾向などを視察し、ニュースにて報告した。
第36回東京都理学療法学会大会 都民公開講座	第36回学 術大会委 員会	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年6月18日	練馬区立練馬文化 センター/ Coconeriホール	一般都民 理学療法士 うち都士会員数	605名 807名 769名	都士会HP 都士会ニュース 研修会等でのチラシの 配布 各会員施設へのポス ター郵送など	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、第36回東京都理学療法学会大会開催中に、都民を対象に「健康増進に必要な運動処方」「地域に在宅医療は必要か」といったテーマの公開講座を開催した。 ・都民公開講座1：「理学療法士が提案します！職場での腰痛への対処法」＜講師＞川又 華代先生 ・都民公開講座2：「在宅医療は安心か？」＜講師＞佐々木 淳先生 平野 浩彦先生 講座終了後は多くの質疑応答が行われ、両テーマに対する都民の関心の高さが視えた。
第37回東京都理学療法学会大会	次年度学 会委員 会	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年7月6日 平成29年8月3日 平成29年9月26日 平成29年10月23日 平成29年11月20日 平成29年12月7日 平成30年1月15日 平成30年2月19日 平成30年3月13日 平成30年3月22日	西湖春（7/6、 8/3、10/23、 11/20、12/7、 1/15、2/19） JCHO東京メディ カルセン ター （9/26） 紅龍（3/13） 首都医校（3/22）	理学療法士/ うち都士会員数	13名/13名 13名/13名 23名/23名 10名/10名 14名/14名 18名/18名 16名/16名 18名/18名 11名/0名 8名/8名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士における学術並びに科学技術の振興のために、「理学療法の発展と基盤の再考」を全体のテーマに、理学療法及び医学等の関連領域に関するセミナー・教育講演、ならびに理学療法に関する基礎研究・臨床研究の成果についての発表を企画した。これらの企画を通じて、理学療法士の人材育成を図った。また、都民を対象に「歩行・再考」に関する公開講座を開催した。 平成30年6月24日首都医校にて開催予定。一般演題・特別講演・シンポジウムの他に公開講座を2講座・オープニングレクチャー・クロージングレクチャーを企画している。また、ソウル理学療法士協会の講演も予定している
都士会学会時の一般公開講座に関する事業	公開講座 準備委員 会	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年9月30日	首都大学東京荒川 キャンパス	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	57名 15名 34名 34名	都士会HP	東京都民の健康への興味と意識の向上を目的に、都民を対象とした公開講座を企画・運営した。会場は、首都大学東京（荒川キャンパス）の講堂を使用した。第27回日本保健科学学会学術集会と共催し、本公開講座は開催された。参加者は計84名であり、都民48名、学会参加者32名の内訳となっている。講師には、医師であり鎌倉女子大学教授でもある木下博勝氏をお招きし、『健康生活を送るための秘訣とその実践』というテーマで90分間の講演した。最新の医学の統計結果をもとに、死亡リスクの高い病気になりやすい方の傾向、どのように病気を予防すべきか等を丁寧に、分かり易く説明されており、医療従事者でなくとも理解できるような講演内容であった。
50周年記念事業	50周年記 念事業準 備委員 会	1	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年7月3日	東京都理学療法士 協会 事務局	理学療法士	8名	都士会ニュース掲載予 定(2019年6月)	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に資するため、平成30年9月に予定している都士会50周年の際の都民向けの講演会や50周年における当会広報のための企画をすすめた。

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
駅・周辺のバリアフリーに関する環境調査	エスカレーターアップ推進委員会	1	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成30年2月26日	光が丘駅	理学療法士 うち都士会員数	3名 3名	Facebook	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的に、理学療法士が関わる、障害を持つ方々の環境的弊害を調査し、バリアフリーやノーマライゼーションの地域社会への発展に寄与する目的で、都営大江戸線光が丘駅・周辺複合施設の段差・エスカレーターの乗降状況などについて現地調査を行った。全4箇所のエスカレーターを調査し、定点観測候補地を視察。定点観測方法等の更なる検討が必要であり、定点観測地・方法の最終決定とはならず。この調査を元に東京都交通局との折衝した結果、平成30年5月には駅構内の現地調査を行う予定となった。
リハビリ相談会	地域活性局	1	35 相談・助言	委託事業	主催事業	平成29年4月1日～平成30年3月31日	多摩丘陵病院他	理学療法士	5名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進のため、各区市町村の各地で開催されている健康まつり等において、ブロック、支部で障がいや介護予防などに対する指導・相談などのリハビリ相談会のブースなどを出展するための支援を行った。実績として、台東区みんなの広場、清瀬まつり、江東区民まつり、江戸川区民祭り、杉並健康ライフなどがあつた。
区西南部・区西部ブロック リハビリ相談会 杉並健康ライフ2017	区西南部・区西部ブロック部	1	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成29年11月5日	阿佐谷地域区民センター	理学療法士 うち都士会員数	11名 11名	都士会HP アラウンド杉並HPに都士会バナー広告を貼りつけリンク	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的に、社会医療法人河北医療財団主催の「アラウンド杉並2017」に体力測定ブースを出展した。当日は地域住民の方550名の来場があり、ブースには120名の方が体力測定と体組成計インボディーによる身体計測の体験、リハビリ相談会を実施した。
区西南部・区西部ブロック 新宿区支部研修会	区西南部・区西部ブロック部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年12月1日	春山記念病院	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	11名 37名 37名	新宿区支部事務局で把握している限りの病院・施設への一斉メール	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を図るために、関連職種等を招き、新宿区の地域リハビリテーションについての研修会を開催した。 1) 白十字訪問看護ステーションの服部絵美氏による講話 訪問看護師の業務内容や利用可能なサービスの紹介、リハビリ職種と連携した症例の報告 2) リハビリサマリーについての意見交換会 大久保病院の中山玄康よりリハビリサマリーに対する個人的見解と話し合いを行う経緯を説明し、数グループに分かれて、現状や記載内容の希望等について意見交換、また各グループで出た意見を発表し、さらに参加者全員で意見交換をした。
区西南部・区西部ブロック 新宿地域リハ推進懇談会	区西南部・区西部ブロック部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年6月2日	戸塚地域センター	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	8名 42名 42名	都士会HP 新宿区支部事務局で把握している限りの病院・施設への一斉メール	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を図るために、関連職種等を招き、新宿区の地域リハビリテーションについての懇談会を開催した。 1) 新宿区役所 高齢者福祉課の中村淳子氏による講話。 新宿区の福祉の実状、区役所とリハビリ職種と連携した症例の報告 2) 有限会社ナイスケア代表(ケアマネージャーのネットワーク ケアネット代表を兼ねる)の塩川隆史氏による講話。 ケアマネージャーの仕事の紹介、新宿区で活動する各種ネットワークの紹介、リハビリ職種と連携した症例の紹介した
区西南部・区西部ブロック 杉並区支部 杉並地域リハビリを考える会	区西南部・区西部ブロック部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年12月14日	社会福祉法人 浴風会病院 認知症介護研修センター会議室	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	2名 20名 26名 26名	都士会HP 支部のメーリングリスト	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進のために、研修会を開催した。講師に認知症介護研究研修センター山口晴保先生より群馬県の地域リハビリテーション連携システムについて話した。当日は杉並区の地域リハビリに携わる行政職員、ケアマネージャー、看護師、PT、OT、STなど多くのスタッフが参加した。研修会では講義内容をもとにどのように杉並区の取り組みをどのように行っていくのか杉並の各エリアに分かれてグループワークも行われた。
区西南部・西部ブロック 渋谷区公開講座	区西南部・区西部ブロック部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成30年1月～平成30年2月	初台リハビリテーション病院	理学療法士 うち都士会員数	17名 17名	FAX 郵送	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進のため、渋谷区における地域包括ケア推進のために、社会状況を踏まえた地域のニーズを知り、地域における理学療法およびリハビリテーション等の有用性・貢献について学び、考える公開講座を来年度行う準備を行った。
区西南部・区西部ブロック 中野区支部公開講座	区西南部・区西部ブロック部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年5月19日	総合東京病院 STR東京ホール	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	5名 15名 70名 55名	都士会HP 都士会ニュース チラシを用いて、近隣施設へ広報を行った。	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進のための中野区支部公開講座を実施した。この公開講座は一般都民および理学療法士をはじめ作業療法士、言語聴覚士等のリハビリテーション専門職種を参加対象とし、中野区医師会会長(H29.5.19現在)山田正興先生が、「地域包括ケアシステムについて」と題し、講演を行った。地域包括ケアシステムの基本的な構造と、中野区における地域包括ケアシステムに関する取り組みを説明し、参加者で共有した。また、中野区内の訪問リハビリテーション事業所に従事している理学療法士による症例提示で検討会を行い、中野区における地域リハビリテーションの実態について討論する場を設けた。
区西北部ブロック研修会②	区西北部ブロック部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年9月7日 平成29年11月2日 平成30年1月11日	帝京平成大学 池袋キャンパス(9/7、11/2) アットビジネスセンター池袋駅前別館705号室(1/11)	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	0名/55名/55名 1名/37名/0名 2名/49名/47名	都士会HP 都士会ニュース スポーツ局国際競技大会・スポーツ理学療法推進部に登録された会員へのメール送信	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進のためスポーツ現場で必要となる研修会を実施した。第1回は、包帯法の基本と応用について、講師：福井孝幸先生(学校法人花田学園 日本柔道整復専門学校)、助手：大久保勇紀先生(学校法人花田学園日本柔道整復専門学校)を迎え研修会を実施した。第2回は救急救命法の基本について、講師：月ヶ瀬 恭子先生(国士館大学防災・救急救助総合研究所)、アシスタント：岩田 彩奈先生、山田 百代先生、田中 翔太先生(国士館大学 同研究所)を迎え研修会を実施した。第3回は、急性外傷発生時の初期評価を想定したシナリオトレーニングを、講師：福井孝幸先生(学校法人花田学園日本柔道整復専門学校)、講師：板倉尚子先生(日本女子体育大学健康管理センター)を迎え研修会を実施した。
区西北部ブロック 都民公開講座	区西北部ブロック部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成30年1月21日	帝京平成大学 池袋キャンパス	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	27名 2名 23名 20名	都士会HP 都士会ニュース 東京新聞掲載 各区施設へポスター郵送	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的に、公開講座を実施した。「子供の健やかな成長と保護者が元気でいるために必要な心がけ ～身体活動(運動)と食生活の重要性～」をテーマに田中千晶先生(桜美林大学)が講師を行なった。保育関連の職種の方や、学童クラブ職員、管理栄養士等の参加もあり、改めてテーマに対する関心の高さが視えた。

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
区西北部ブロック 北区 健康・介護予防イベント	区西北部ブロック部	1	35 相談・助言	自主事業	共催事業	平成29年11月12日	赤羽会館	一般都民	285名	北区HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進のため、きたく介護あんしんフェア2017に参加し、東京都北区医師会、東京都北区医師会、東京都滝野川歯科医師会、北区ケアマネジャーの会、北区高齢者福祉施設長会、北区社会福祉協議会、北区柔道整復師会、北区通所サービス提供責任者の会等多くの団体がブースを出し、区民の健康増進介護予防に対して啓蒙した。東京都理学療法士協会としては、北区内のリハビリ実施可能施設・病院を紹介し、リハビリ相談、体操紹介、スタンプラリーを行った。ブース来場者は335名程。 相談内容としては（相談者7名） ・発症から数年経過しているが、リハビリを続けていくにはどうしたらよいか ・現在家族が入院中だが、今後はどのようなリハビリをどの施設で行っていけばよいのか など。
区西北部ブロック豊島区 健康・介護予防イベント	区西北部ブロック部	1	34 体験活動等	自主事業	共催事業	平成29年10月5日 平成30年2月21日	としまセンタースクエア（豊島区役所1階） 高田馬場介護予防センター	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	423名/7名/7名 23名/3名/3名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進のために、体験活動を実施した。 ①豊島区主催の介護予防イベントに体験ブースを出展し、シット&リーチテスト・バックスクラッチテスト・立ち上がりテストの3種類の体力測定を通して理学療法を体験して頂く。当支部の体験ブースには100名を超える方々に足を運んで頂き、測定後は、結果のフィードバックに加え、冊子によるJPTA及びTPTAの広報活動、地域住民からの相談や情報交換により、地域交流を深められた。 ②豊島区支部と豊島区高齢者福祉課介護予防・認知症対策グループと共同して地域在住の高齢者に向けて転倒予防講座『転ばぬ先の脚～自分の体力を知ろう～』を実施。参加者23名の地域在住の高齢者に、理学療法士の啓蒙、転倒に関するクイズ、転倒に関する知識、体力測定と結果のフィードバック、運動指導といった内容の講座を実施した。
板橋区支部スポーツイベント サポート 第4回いたばしウォーキング大会 板橋区ウォーキング2017	区西北部ブロック部	1	35 相談・助言	自主事業	共催事業	平成29年11月3日 平成30年3月18日	板橋区内	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	897名/16名/16名 250名/45名/45名	区西北部ブロックニュース (FAX)	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に関する事業として、板橋区主催 第4回いたばしウォーキング大会にて運営サポート、参加者が安全にウォーキングできるように水分や塩分補給の促し、歩行やストレッチ指導を実施した。 また、板橋CITYマラソン2018にてランナーの荷物受け渡し場所の運営と、競技を終了したランナーに荷物を渡す際のサポートや、理学療法テントを設営しランナーのコンディショニングを実施した。
板橋区支部 スポーツイベント 板橋区サッカー連盟少年部	区西北部ブロック部	1	35 相談・助言	自主事業	共催事業	平成29年11月26日 平成29年12月10日 平成29年12月17日 平成30年3月11日	板橋区立小豆沢野球場 (11/26) 墨田区荒川緑地少年グラウンド (12/10、12/17) 板橋区荒川戸田橋サッカー場 (3/10)	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	30名/3名/3名 20名/2名/2名 20名/2名/2名 80名/1名/1名	区西北部ブロックニュース (FAX)	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に関する事業として、板橋区サッカー連盟少年部主催イベントにおいて、少年少女サッカー選手の応急手当や動作指導を提供した。
練馬こぶしハーフマラソン 2018 サポート事業	区西北部ブロック部	1	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成30年3月25日	都立光が丘公園	一般都民 理学療法士 うち都士会員数	175名 26名 26名	区西北部ブロックニュース (FAX)	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的に、練馬こぶしハーフマラソン2018に参加し、予防テーピングやランナーの障害予防方法の啓蒙活動を行った。
としまMONOづくりメッセ リハビリ相談会	区西北部ブロック部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成30年3月1日 平成30年3月2日 平成30年3月3日	サンシャインシティ展示ホールB（文化会館4F）	一般都民/ その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	247名/0名/6名/6名 136名/0名/5名/5名 153名/1名/7名/7名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進のため、第11回としまMONOづくりメッセ内にて、特設ブースを設置し、リハビリ相談と助言、理学療法の体験ならびに啓蒙活動を実施した。延べ136名の方にFFD（指床間距離）の測定や姿勢評価（座位・立位）を行い、対象者に合わせた運動指導を実施した。また、536名の方に配布物を用いた啓蒙活動ができた。
江東区民まつりにおけるリハビリ相談会	区東北部・区東部ブロック部	1	38 キャンペーン(〇〇月間)	自主事業	共催事業	平成29年10月28日	木場公園	一般都民/ その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	338名 10名 3名 3名	江東区報 東京新聞	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進のため、江東区民まつりにて体力測定・体操教室・相談会を行なった。内容としては、1.体力測定、膝伸展力測定器具を使用し、大腿四頭筋の筋力測定、2.体操教室、koto粋生き体操を指導、3.相談会（医療・介護・予防分野の相談業務）を実施した。
区東部区東北部ブロック 江東区支部公開講座	区東北部・区東部ブロック部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年8月23日	パラマウントベッド本社	一般都民/ その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	1名 7名 36名 32名	都士会HP 江東区内の施設へチラシの郵送 連絡会等でチラシ配布	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進のため、リハビリ関連職種を対象に公開講座を実施した。一般都民の健康のために、理学療法士がどのように地域包括ケアシステムに関わるかについて学ぶことを目的とした。 講義1 『江東区における総合事業の概要とリハビリ職に求められるもの』 講師 江東区福祉部地域ケア推進課長 大江 英樹氏 講義2 『これまでの江東区の事業における理学療法士の活動』 講師 JCHO東京城東病院 理学療法士長 青木寛幸氏
西多摩南多摩ブロック リハビリ相談会	西多摩・南多摩ブロック部	1	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成30年3月10日	町田山崎団地（東京都町田市山崎町2130）	一般都民 理学療法士 うち都士会員数	93名 4名 4名	都士会HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的に、UR都市機構・町田市山崎団地自治会・自主防災会が主催する『DANCHI Carevan in 町田山崎 防災まつり』の健康チェックコーナーに体力測定ブースを出展した。当日は多くの地域住民の来場があり、健康チェックコーナーでは、他に看護師による骨密度や体組成測定や健康飲料試飲のブースがあり、PTブースでは93名の方に対しCS30を実施したり、リハビリ相談会を実施した。
北多摩ブロック吸引研修会	北多摩ブロック部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年11月7日 平成29年11月14日	社会医学技術学院	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	7名/46名/44名 7名/44名/42名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に寄与するため、気管吸引に必要な知識技術の講習を実施した。 講師は南雲健吾（リハビリ企画合同会社）、寄本恵輔（国立精神・神経医療センター）、講師補助は有明陽祐（国立精神・神経医療研究センター）、有明陽祐（国立精神・神経医療研究センター）、原佳孝（武蔵野市赤病院）、渡辺達也（東大和病院）、柳堀明久（小金井太陽病院）、石塚佳久（田無病院）、川上剛（緑風荘病院）、徳嶋慎太郎（多摩川病院）、岩見俊哉（オムソーリ訪問看護リハビリステーション府中）に依頼した。

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
北多摩ブロック リハビリ相談会 国分寺まつり	北多摩ブロック部	1	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成29年11月5日	都立武蔵国分寺公園	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	148名 3名 9名 7名	市のHPや市報・配布チラシ	理学療法を通じた都民の医療・健康・福祉の増進のため、リハビリ相談会、体力測定会を国分寺まつりにて実施した。来場された地域住民148名に体力測定会を実施し、必要に応じて日ごろのリハビリ相談を受けた。
北多摩ブロック 公開講座 清瀬市介護技術研修会(訪問介護事業所連絡会との連携)	北多摩ブロック部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年7月11日	介護老人保健施設 たけおか	その他医療従事者 理学療法士	30名 5名	清瀬市訪問介護事業所連絡会から研修案内を配布会、メールなど	理学療法及びリハビリテーションを通して、都民の医療・保健・福祉の増進を目的とする事業。訪問介護員の皆さんに、基本的な介護技術の知識・技術を研修していただくことで、利用者の状態に合わせた介護・介助が行えることを目的に研修会を開催した。基礎的な知識をきちんと身に付けていただくことで、応用的な技術が行えることを理解していただき、利用者の状態に合わせた介助が可能になるよう支援していった。
北多摩ブロック 清瀬市民まつり	北多摩ブロック部	1	34 体験活動等	自主事業	主催事業	平成29年10月15日	清瀬駅北口 けやき通り	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	15名 6名 6名 6名	清瀬市報、清瀬市HP、清瀬市商工会HP、大手新聞社発行新聞折込チラシ	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進のために、きよせ市民まつりにてブース参加し、体力測定、リハビリ相談を実施した。当日は天気が雨、最高気温12度という寒さ中での開催であったが、ブースには都民が合計15名来所。来所者は41歳から89歳と幅広い年齢層で70歳代の方が9名と最も多く、80%が女性だった。来所目的は体力測定が14名だった。
北多摩ブロック 立川支部 公開講座	北多摩ブロック部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年8月2日 平成29年9月20日 平成29年11月29日 平成30年1月24日	立川市役所	一般都民 その他医療従事者	9名/3名 8名/2名 9名/1名 10名/1名	立川市高齢福祉課 介護予防推進係による広報周知	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進ならび立川市と共同で作成した「健康体操」の普及啓発を目的として、公開講座(体操教室)を実施した。市民ならびに行政職員と生活支援コーディネーターを対象に、ミニ講話ならびに実技を組み合わせ、フレイル予防と転倒予防について研修を行った。併せて、立川市高齢福祉課介護予防推進係と協力し、立川市の一般介護予防事業「健康体操応援プログラム」についての広報周知を実施した。
研究助成	学術局	2	43 助成(応募型)	自主事業	主催事業	平成29年7月5日	慶應義塾大学病院	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	1名 4名 4名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法に関する学際的な研究に対して、公募によって申請のあった研究について、必要とする研究機器の貸し出しと必要研究資金の全額または一部を助成した。平成29年6月1日から6月30日まで研究助成応募を受け付け、11件の応募があった。申請内容について選考会議に諮り、ブラインド評価にて上位の7件の申請を理事会(7月7日開催)にて採択した。
研究推進相談事業	研究推進部	2	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成30年2月5日	慶應義塾大学病院	理学療法士 うち都士会員数	4名 4名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法に関する相談を受け付け、依頼内容に応じて助言を行った。Web上での相談受付を行ったが、本年度の相談件数は0件だった。
研究助成	研究推進部	2	43 助成(応募型)	自主事業	主催事業	平成29年7月5日	慶應義塾大学病院	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	1名 4名 4名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法に関する学際的な研究に対して、公募によって申請のあった研究について、必要とする研究機器の貸し出しと必要研究資金の全額または一部を助成した。平成29年6月1日から6月30日まで研究助成応募を受け付け、11件の応募があった。申請内容について選考会議に諮り、ブラインド評価にて上位の7件の申請を理事会(7月7日開催)にて採択した。
理学療法研究法講習会	研究推進部	2	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年11月25日	日本大学文理学部	理学療法士 うち都士会員数	77名 52名	都士会HP 都士会ニュース	スポーツ理学療法における研究手法をテーマとして、11月25日に以下の講習を開催した。77名の理学療法士が参加した。 1. 障害者スポーツにおける理学療法研究の現状と課題(講師:一般社団法人こみゅスポ研究所・塩田琴美先生) 2. スポーツ理学療法における臨床研究の考え方と進め方(講師:東京医科歯科大学スポーツ医歯学診療センター・相澤純也先生)
機器開発助成	理学療法関連機器開発委員会	2	43 助成(応募型)	自主事業	主催事業	平成29年8月25日～ 平成29年12月25日	東京都理学療法士協会 事務局	理学療法士 うち都士会員数	2名 2名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法における学術及び科学技術の振興を目的として、一般都民、医療従事者及び都士会員を対象に開発機器アイデアを募集を募った。応募作品に対し、助成が適していると判断された場合に助成金を交付する予定であったが、応募はなかった。
介護支援専門員向け研修会	介護保険部	3	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成30年3月6日	中野サンプラザ	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	1名 12名 24名 23名	都士会HP 地域活性局からの広報 介護保険部部員の勤務 地域(杉並区、中野区、練馬区)にある居宅介護支援事業所への 広報	今回はタイトルを「理学療法士が考える自立支援とケアマネジメント～介護保険制度改定を踏まえて～」とし、ケアマネや理学療法士等のリハビリ職種、介護職の方にも参加して頂いた。高齢者一人ひとりがいかの自立した幸せな生活を送れるか、そのためにはどのような支援ができるかについて講義とグループワークが行われた。また、30年度の介護報酬改正の要点にも触れられた。講師は理学療法士でありケアマネジャーでもある南雲先生で、内容は多角的に自立とはどういうことなのかについてであった。また、グループワークでは講師の作成したケアプランを題材に、いい点や改善点をディスカッションした。グループワーク中、講師が各テーブルを回り、参加者が気軽に講師に質問できているよい雰囲気であった。アンケート結果でもケアマネジャーからは「考え方がとても勉強になった」「もっと長い時間で聞きたかった」などの意見が上がった。リハビリ職種からは「自立や本人の意向に寄り添う、ということを考えさせられた」との意見が多かった。次年度はケアマネジャーへの広報の仕方を再考し、さらに多くのケアマネジャーの参加を目指す。

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
学校から医療医療から学校の円滑な循環システム構築のための調査	学校保健部	3	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成29年11月24日 平成30年2月15日 平成30年3月6日	番町小学校 (11/24、2/15) 社会医学技術学院 (3/6)	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	30名/2名/2名 30名/1名/0名 0名/4名/4名	都士会HP 都士会ニュース	地域社会の健全な発展を目的として学校から医療・医療から学校への円滑な循環システム構築のため、幅広い調査・資料収集を実施して、より効果的なサポート活動を行うための基礎的情報とする目的で行った。 1) 幼稚園特別支援教育研究会 (11/24) 就学前にやってみたい「自立活動」の基礎・基本 その2「子どもの認知の「峰」と「谷」を知る」 講師：特別支援教室巡回指導教員 奥山 文子先生 臨床発達心理士 池田 敬史先生 2) 幼稚園特別支援教育研究会 (2/15) 『就学前にやってみたい「自立活動」の基礎・基本 その3「子どもの認知の「峰」と「谷」を知る』』 言語聴覚士 菅野由利子先生 臨床発達心理士 池田 敬史先生
各自治体との連携推進を支援する事業	地域包括ケアシステム推進委員会	3	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年10月11日 平成30年3月7日	IKE・Bizとしま産業振興プラザ TKP新宿カンファレンスセンター	その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	100名/16名/16名 8名/33名/28名	都士会ニュース FAX通信、他の研修会での配布	どの地域においても理学療法士が地域事業に関わり、都民の健康増進および介護予防推進の事業が効果的に行われ、いつまでも住み馴れたその地域で生き生きと暮らせるように支援することを目的とする事業を実施した。そのために理学療法士の質を高めサービスの質を担保する必要あり、地域づくりで顔の見える連携をすすめるため、「東京都介護予防推進会議」で自治体の介護予防担当者や直にグループワークで意見交換した。お互いの立場を理解しながら、協働できるよう進めていくきっかけとなった。 また、地域づくりで顔の見える関係やコミュニティがはぐくまれていくと、いざ、何か起こった時の助け合いも行きやすくなるために地域づくりを先駆的に行っている小規模多機能の管理者を講師に研修会を行った。 ①日時：平成30年3月7日19時～21時 ②会場：TKP新宿カンファレンスセンター ③テーマ：地域づくりは災害対策「東日本大震災で感じた後悔からのチャレンジ ④講師：菅原健介先生（株式会社ぐるんどびー） ⑤対象：PT・OT・ST・他職種 地域で活動している方々の想いや災害への関心・備えなどについて意見交換を行なった。 (1) 都民の医療・保健・福祉の向上を目指し、地域包括ケアシステムや日常生活・総合事業での地域活動における理学療法士の関わり方や支援できることについて、行政職・地域包括支援センター職員等にわかりやすくまとめた資料の作成について検討した。来年度の完成を目指す。(2) 体力測定シートのデータ収集方法を検討した。「杉浦地域医療振興助成」に応募した。
三団体合同日常生活支援・総合事業に対応する人材育成	地域包括ケアシステム推進委員会	3	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成30年3月9日 平成30年3月16日	TKP新宿カンファレンスセンター TKP新宿カンファレンスセンター	その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	13名/33名/32名 8名/27名/27名	都士会HP 支部へのメールでの連絡、東京都地域リハビリテーション人材育成研修修了者への郵送案内	どの地域においても理学療法士が都民の健康増進や介護予防に関わり、いつまでも住み馴れた地域で生き生きと暮らし続けることができるよう支援できる人材育成を目的とする事業を実施した。 【情報交換会】 東京都や各自治体の事業について、東京都介護予防推進支援センターから今年度の活動と来年度に向けた講話と、意見・情報交換を行った。 ①日時：3月9日（金）19時～21時30分 ②会場：TKP新宿カンファレンスセンター ③講師：大淵修一先生（介護予防推進支援センター センター長） 【三士会合同アドバンス研修会】 東京都地域リハビリテーション専門人材育成研修 現任研修修了者を対象に各地域での実践報告をした。研修修了者が実際に各地域でどのように地域活動に参加しているか、3地域から報告した。 ①日時：3月16日（金）19時～21時30分 ②会場：TKP新宿カンファレンスセンター ③講師：盆出先生（東久留米市の活動）、新泉先生（国立市お活動）、山本先生（八王子市の活動）
第36回東京都理学療法学会大会 併催キャンペーン エスカレーター安全乗車PR	第36回学会大会委員会	3	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成29年6月18日	練馬区立練馬文化センター/ Coconeriホール	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	605名 807名 769名	都士会HP 都士会ニュース 研修会等でのチラシの配布 各会員施設へのポスター郵送など	地域社会の健全な発展を目的として、第36回東京都理学療法学会大会開催期間中に、開催地周辺の駅構内のエスカレーター乗車口にて、エスカレーターの安全な乗車方法の呼びかけを行なった。テーマを「エスカレーター 止まって乗りたい人がいる」と題して、障害がある方も、安心して歩かずエスカレーターに乗車できる環境を生み出していこうといったソーシャルアクションであった。終了後は都民の皆様をはじめ、全国のマスメディア、新聞社等からの取材依頼、国土交通省HPへの掲載依頼もあり多くの反響を頂いた。このアクションを本大会のイベントで終わらせることなく、継続した活動として位置付けていくことを課題とした。
エスカレーターマナーアップ推進イベント	エスカレーターマナーアップ推進委員会	3	38 キャンペーン(〇〇月間)	自主事業	主催事業	平成29年12月3日 平成30年1月21日	光が丘駅 帝京平成大学	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	300名/10名/10名 15名/3名/3名	都士会HP 街頭でのPR	地域社会の健全な発展を目的とし、駅周辺のエスカレーターの片側空けをなくすための啓発活動を行なった。12月3日のイベントでは、チラシ・ノベルティの配布のほかに、一般都民を対象にアンケート調査を行い、結果を都士会HPに掲載し、周知活動につなげた。ほか、他団体との折衝や打ち合わせなどの事前作業を行った。

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
島しょ視察・調査・報告・交流事業	区中央部・区南部・島しょブロック部	3	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成29年9月23日	新島港客船待合所前広場内	理学療法士 うち都士会員数	3名 3名	都士会ニュース 新島村役場からの広報	地域社会の健全な発展に資するため、東京都理学療法士協会の島しょ地域における理学療法士の活動状況を調査や各島の交流啓発を行った。 新島にて理学療法士が島しょ民に対してどのようなサービスができるのかを調査するため、島民まつりにて健康相談および講演会を企画した。しかし、当日は荒天にて翌日へ順延したため島民まつりへは不参加。 代替案として、「さわやか健康センター」および「特別養護老人ホーム新島はまゆう会」の施設見学を実施。調査結果は、東京都理学療法士協会HPでの掲載や理学療法東京へ寄稿した。 地域社会の健全な発展に資するため、東京都理学療法士協会の島しょ地域における理学療法士の活動状況を調査や各島の交流啓発を行った。 新島にて理学療法士が島しょ民に対してどのようなサービスが出来るのかをPRするため、島民まつりにて健康相談および講演会を企画した。しかし、当日は荒天にて翌日へ順延したため島民まつりへは不参加。代替案として、「さわやか健康センター」および「特別養護老人ホーム新島はまゆう会」の施設見学を実施した。 ①さわやか健康センター PT1名 施設内のPTは健康相談を希望者に対し、実施。 スポーツルームがあり、エアロバイク、トレッドミル、ダンベル等の機器がある。 ②特別養護老人ホーム 入所者30名、平均年齢90歳、9割が女性。 調査結果は、東京都理学療法士協会HPでの掲載や理学療法東京へ寄稿した。
区中央部・区南部・島しょブロック台東区「みんなのひろば祭」への参加	区中央部・区南部・島しょブロック部	3	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成29年11月3日	入谷南公園	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	約500名 6名 6名	都士会HP 台東区各病院への 広報	地域社会の健全な発展を目的に、みんなのひろば祭に参加した。このイベントは、「ハンディキャップのある人も、おとしより子供たちらゆ世代の人たちが一緒になって、とも集えるひろばをつくらう！」をコンセプトとしている。大会本部のブースにて会場内の誘導係りなどの大会運営を行った。
区東北部・区東部ブロック江戸川区公開講座	区東北部・区東部ブロック部	3	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年9月29日	タワーホール船堀	その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	12名 50名 28名	江戸川リハビリテーション連絡会・ホームページ・メール・FAX	地域社会の健全な発展を目的に研修会（公開講座）を開催する。江戸川区ケアマネジャー協会理事 ケアフリー介護相談室 代表 栗岡 清英 氏を講師に、「知っておきたい、江戸川区あるある」～江戸川区の歴史から防災、医療、介護報酬まで様々なデータをお伝えします～」をテーマに講演をした。この研修会で、江戸川区における地域社会を理学療法士以外の職種としてケアマネジャーを通して知識を習得し、介護保険や最新の介護保険を知り、その後、江戸川区において理学療法士が区民の健康・福祉に活躍できるかディスカッションを行った。
【新規】区東部区東北部ブロック江東区支部研修会	区東北部・区東部ブロック部	3	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成30年2月28日	セントラルプラザ大島 会議室	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	3名 23名 3名	都士会HP 都士会員へ案内ハガキを郵送	地域社会の健全な発展を目的とし、江東区で来年度より始まる『地域リハビリテーション活動支援事業』の内容を理解することと今後地域の中で理学療法士がどのように活動していくべきかを理解するために理学療法士を対象として研修会を実施した。 講演は①「地域事業において理学療法士に期待すること」講師 江東区地域ケア推進課 課長 大江英樹氏②「平成30年度地域リハビリテーション活動支援事業について」講師 江東区地域ケア推進課 保健師 森千珠 氏③「他自治体における介護予防事業の実践（町田市の場合）～理学療法士の関わり～」講師 東京都理学療法士協会 地域活性局 局長、多摩丘陵病院 リハビリテーション科 中澤幹夫 氏を迎え実施した。
平成29年度第2回医療・介護関係者の研修会（多摩市）	西多摩・南多摩ブロック部	3	33 講座、セミナー、育成	委託事業	主催事業	平成29年9月19日	関戸公民館（グイータホール）	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	54名 28名 25名	多摩市在宅医療・介護連携推進協議会より医療介護事業所へ広報	地域社会の健全な発展のため、多摩市在宅医療・介護連携推進協議会主催、多摩市医師会、多摩歯科医師会、多摩市薬剤師会共催で医療・介護関係者の研修会を実施。本研修会は、2年間で計8回計画のうちの1回であり、リハビリ専門職が担当し実施した。テーマを在宅でのリハビリテーション～活動と参加、連携～として、①講演 吉井智晴 東京医療学院大学保健医療学部 リハビリテーション学科 ②症例提示後、グループワークを実施した。
西多摩南多摩ブロック 日野市支部研修会	西多摩・南多摩ブロック部	3	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成30年3月16日	イオンモール多摩平3階 イオンホール	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	33名 18名 34名 24名	都士会HP	地域社会の健全な発展を目的に研修会を開催した。 第1回は、医療・介護・事業所の特徴をそれぞれが把握して、患者様・利用者様が住み慣れた地域で生活できる基盤作りを支援するシステムを構築することを目的に必要な情報を提示して、目に見えるネットワーク作りを提案して患者様・利用者様へのリハビリサービスの向上を図った。 第2回は、平成30年度の医療・介護の同時改定の中で、国の方針について学び、地域社会づくりに生かすことを目的に実施。
北多摩ブロック 地域連携推進のための事業	北多摩ブロック部	3	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年4月1日～平成30年3月31日	武蔵野日赤病院、田無病院	理学療法士 うち都士会員数	5名 5名		地域社会の健全な発展のために、北多摩地域内にて理学療法士がいる施設の見学会を開催し、その見学会の中で、その施設の強みなどの研修会を実施することを昨年度に引き続き企画し準備を行ったが、今年度は実施には至らなかった。

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
北多摩ブロック多職種連携セミナー	北多摩ブロック部	3	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年7月1日	国立市役所 3 階 第1, 2会 議室	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	16名 21名 21名	都士会HP 都士会ニュース 近隣施設へのチラシ配 布	地域社会の健全な発展を目的とし、研修会を開催した。地域包括ケアシステムの施行に伴い、理学療法士を含むリハビリテーション関連職と医師・看護師・ケアマネジャーや自治体との連携は重要かつ不可欠なものになっていく。 この研修会では北多摩ブロックの中で理学療法士とリハビリテーション関連職・医師・看護師・ケアマネジャー・福祉職等が包括ケアシステムについての講演を聞き、参加者がグループセッション等を通じてお互いの職種の視点を共有することを目標とした。 講師：国立市役所 健康福祉部 地域包括ケア推進担当課長 大川 潤一 氏 東京都作業療法士会 副会長 三沢 幸史 氏 あおやぎ苑 谷保デイサービスセンター 大崎 詩織 氏 新田クリニック 遊佐 真弓 氏 内容：第1部 基調講演1「国立市における介護予防事業（仮）」 60分 講師 国立市役所 健康福祉部 地域包括ケア推進担当課長 大川 潤一 氏 基調講演2 介護予防事業の実態 各10分 「訪問事業（訪問C）の現状」 東京都作業療法士会 副会長 三沢 幸史 氏 「通所事業（通所C）の現状」 あおやぎ苑 谷保デイサービスセンター 大崎 詩織 氏 「一般介護事業の現状」 新田クリニック 遊佐 真弓 氏 第2部 グループディスカッション ～介護予防の多職種連携について～
西東京市市支部 公開講座	北多摩ブロック部	3	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年10月17日	西東京市役所 保谷庁舎 4階 研修室	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	22名 46名 40名	都士会HP 西東京市在住の協会員 に案内状の送付	地域社会の健全な発展を目的とし、行政と専門職の連携強化と市民を支える体制づくりのため、研修会を開催した。 当日は、「西東京市の介護予防事業」 八矢好美様（西東京市 高齢者支援課 地域支援係長）、「健康」 応援都市 西東京市～健康が中心のまちづくり～ 栗田和也様（西東京市 健康福祉部 副参与 兼健康課長）、西東京市のリハビリ事業～理学療法士の立場から～ 阪本千恵様（西東京市 健康課 保健係 理学療法士）、多職種連携とフレイル予防 徳丸 剛様（西東京市 高齢者支援課 在宅療養推進係）、地域と共に作り上げるオール西東京のまちづくり 後藤紀行様（西東京市 高齢者支援課 副主幹）の5名の方に西東京市役所が西東京市で働くリハビリテーション専門職への提言・期待することなどを講演して頂いた。
リハビリ相談会	成人福祉部	4	35 相談・ 助言	自主事業	主催事業	平成29年6月3日 平成29年8月5日 平成30年2月3日	福生市福祉セン ター	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	3名/4名/4名 6名/8名/8名 3名/4名/4名	都士会HP 都士会ニュース 福生市福祉協議会HP 社会福祉協議会にてフ ライヤー（リハビリ相 談会の開催日が記載さ れたもの）を作成して 頂き、福祉センター及 び各保健福祉機関に配 布、来室した都民の方 に自由に取っていただ く。	平成29年6月3日（土）13時30分～ 来場者は都民の方4名、相談者3名付添1名すべて女性であった。相談内容は、自宅近くには接骨院やマッサージ院しかないので病院でリハビリが受けられるところを教えてください、整形外科に通っているが、医者が怖くて状態を開けないのでどうしたらいいか、20年前に作った装具が合わなくなっている作り替えたい、の3件であった。 平成29年8月5日（土）13時30分～ 来場者は都民の方6名、相談者は4組で、男性2名女性2名であった。相談内容は、脊椎管狭窄症の方の運動について、杖の長さについて、6～7年使っている装具の交換時期について、肩や背中を伸ばす運動を教えてください、の4件であった。今回は福生市支部からの初参加者もあり、ベテラン相談員の対応を熱心に学ぶ機会となった。 平成30年2月3日（土）13時30分～ 来場者は都民の方3名 相談件数2件であった。相談内容はRAの女性の方は、近隣でリハビリの外来を教えてください、自主的な体操を知りたい。CPのお子さんを持つお母さんは、お子さんと一緒に来場され、足部の変形で歩行に支障はないか、手術や装具の適応ではないか、との相談であった。
福祉まつり リハビリ相談コーナー	成人福祉部	4	35 相談・ 助言	自主事業	共催事業	平成29年10月1日	福生市福祉セン ター	一般都民 理学療法士 うち都士会員数	120名 6名 6名	都士会HP 都士会ニュース 福生市HP 福祉祭りのパンフレッ ト、ポスターへの記載 パンフレットは福祉セ ンター及び各保健福祉 機関に配布。来室した 都民の方に自由に取っ ていただく	本年度より実行委員会より体験コーナーへの参加要請があり、会場も2階から1階へと変更になり、リハビリ相談とチャレンジ体力測定として、握力・開眼片脚立位・CS30を行うこととした。チャレンジ体力測定に参加者は男性33名、女性87名合計120名で10歳未満から80歳代まで年齢は多岐にわたった。そのうちリハビリ相談へは70歳代の女性6名6件であった。相談内容は、肩の痛みの相談が2件（1件は配偶者の痛み）、膝の痛みの相談が1件、腰の痛みの相談が3件だった。それぞれ適切なアドバイスを行い満足されていたようだった。 今回は急な依頼で体験コーナーを開催したが、会場も変更になり、スタッフも昨年と同じ人数で来場者に対応しきれない部分もあり、来年度に向けて人数や方法を検討していく。
区中央部・区南部・島しょブロック 中央区通いの場支援事業	区中央部・区南部・島しょブロック部	4	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年7月5日～ 平成30年3月7日	勝どき区民館 ダイルーム	一般都民 理学療法士 うち都士会員数	393名 42名 42名	区報、区のホームページ、 社会福祉協議会、 おとしより相談セン ター、都士会員施設で のポスター貼りや声掛 け	中央区の高齢者の福祉の向上を目的とし、介護予防・日常生活支援総合事業である「通いの場支援事業」を運営した。この事業により、区内の閉じこもりがちな高齢者や要支援者も含む高齢者全般の健康および地域交流を促進し、理学療法士が持つ介護予防関連知識および技術を啓蒙することで、地域高齢者主体による介護予防活動の発展に繋げることができた。
区西南部区西部ブロック 区市町村介護予防事業等に関する公開講座	区西南部・区西部ブロック部	4	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成30年3月20日	みんなの会議 室官益坂2-1 (渋谷駅)	理学療法士 うち都士会員数	14名 14名	目黒区在職のPTにて 対して、郵送にて 広報	高齢者の福祉の向上に資するため、区市町村介護予防事業等での理学療法士の活動についての報告を行った。新宿区支部、世田谷区支部、杉並区支部の代表者が各地域での活動について講演したのち、参加者との討議を行うシンポジウム形式での研修会を実施し交流を図った。講師：田中尚喜先生（新宿区支部）、鹿島雄志先生（世田谷区支部）、石毛崇先生（杉並区支部）

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
区西南部・西部ブロック・世田谷支部 ケアマネージャー向け公開講座	区西南部・区西部ブロック部	4	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成30年1月26日 平成30年2月21日	玉川区民会館 北沢タウン ホール	その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	9名/3名/3名 28名/1名/1名	世田谷区内事業所 へのFAX	世田谷区の地域包括ケアシステムの構築を円滑に進めるために理学療法及びリハビリテーション等の有用性について理解頂き、地域包括ケアシステムにおける理学療法士の活用を促進する目的として、理学療法およびリハビリテーション等に関する研修会を実施した。世田谷区南部地域・北部地域において計2回ケアマネージャー向けに「リハ職のアセスメント」「強みを生かした自立支援」について講演及びグループワークを行った。
区西北部ブロック 板橋区 健康・介護予防イベント	区西北部ブロック部	4	35 相談・助言	自主事業	共催事業	平成29年10月25日	板橋区立グリーンホール	理学療法士/ うち都士会員数	11名 11名	区西北部ブロック ニュース (FAX)	理学療法を通じた地域在住高齢者の福祉の向上を目的として板橋区主催のいたばし福祉用具フェア2017に東京都理学療法士協会板橋区支部としてブースを出展した。内容はロコモチャレンジとして、福祉用具フェアに来場した地域在住者のロコモ度測定をして、結果に応じた運動指導や相談に応じた。また、ミニ講座として「生活機能向上と運動習慣で健康寿命を延ばそう!」、「認知症を予防して健康寿命を延ばそう!」の2本をそれぞれ、日本理学療法士協会の理学療法ハンドブック「健康寿命をのばそう」を参考に実施した。
区西北部ブロック練馬区 健康・介護予防イベント	区西北部ブロック部	4	35 相談・助言	自主事業	共催事業	平成29年10月23日	豊島園	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	300名 30名 30名	練馬区報 都士会HP 都士会ニュース	高齢者の福祉の向上を目的として、都民の健康・介護予防の推進を目的とした練馬区のイベントに、特設ブースを配置するなどして参加した。具体的には、練馬区 健康フェスティバル「理学療法 リハビリテーション相談室」にて相談会・体力測定等を実施した。
板橋区住民運営型介護予防体験講座	区西北部ブロック部	4	34 体験活動等	自主事業	共催事業	平成29年7月22日 平成29年10月28日 平成30年1月27日	板橋区おとしより保健福祉センター	一般都民/ その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	48名/0名/17名/17名 59名/0名/14名/14名 45名/1名/16名/16名	区西北部ブロック ニュース (FAX)	高齢者の福祉の向上を目的として板橋区では住民運営による通いの場の立ち上げ支援として、群馬県地域リハビリテーション支援センターが原本を作成した「暮らしを広げる10の筋トレ」を提唱して事業を展開した。その効果検証として、体力測定イベントを開催し、地域在住高齢者の体力測定ならびに理学療法士として運動や生活の指導を行った。
江戸川区民まつりにおける体操教室	区東北部・区東部ブロック部	4	35 相談・助言	自主事業	共催事業	平成29年10月8日	都立篠崎公園	一般都民/ その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	80名 1名 2名 2名	地域新聞 現地チラシ配り	高齢者の福祉の向上を目的に、第40回江戸川区民まつりにおけるイベントに熟年者福祉施設連絡会より依頼があり、理学療法士という立場からの健康体操指導やリハビリ・介護相談を実施した。体操においては、20分程度の体操を午前2回午後2回実施。各時間に20名程度の一般の方が集まり体操を実施した。またリハビリ・介護相談においては、約10名の相談者あり。介護を受けている方、介護をされている方、リハビリで悩んでいる方など様々な相談があった。
理学療法の日 介護予防キャンペーン 区東部・区東北部ブロック	区東北部・区東部ブロック部	4	38 キャンペーン(〇〇月間)	委託事業	主催事業	平成29年7月17日	東京スカイツリー 地下エントランス ペース	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	163名 28名 28名	都士会HP 都士会ニュース 東京ソラマチHP 東京新聞	高齢者の福祉向上のため、介護予防キャンペーンを開催する。このキャンペーンは、日本理学療法士協会における平成29年度理学療法啓発および介護予防・健康増進事業の一環であり、住民主体の自助・互助力を高める介護予防の普及・推進を図り、理学療法士主導の体操にとどまらず地域住民教育、自助・互助の普及を目的に行った。東京都民の介護予防・健康増進などの目的を考え区東北部・区東部の医療圏である荒川区・墨田区・葛飾区・足立区・江東区・江戸川区の理学療法士が東京スカイツリー地下3階に来た方々に対して下記の内容を実施した。① 体力測定会 (立ち上がりテスト20cm、40cm・ツーステップテスト・握力) ② ①の結果に基づき相談や日常生活におけるアドバイス ③ 配布 (協会リーフレット、協会ノベルティグッズ、アンケートなど) ④ 理学療法士の日常的な動画をプロジェクト等
理学療法の日 介護予防キャンペーン 西多摩南多摩ブロック	西多摩・南多摩ブロック部	4	38 キャンペーン(〇〇月間)	委託事業	主催事業	平成29年7月2日	アウラホール (京王聖跡 桜ヶ丘ショッ ピングセン ター)	一般都民/ その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	41名 12名 26名 26名	都士会HP 都士会ニュース 南多摩医療圏の各市ケ アマネ連絡会でのチ ラシ配布 南多摩リハビリ支援 センターより介護事業 所へのチラシ配布 など	高齢者の福祉向上のため、介護予防キャンペーンを開催した。このキャンペーンは、日本理学療法士協会における平成29年度理学療法啓発および介護予防・健康増進事業の一環であり、住民主体の自助・互助力を高める介護予防の普及・推進を図り、理学療法士主導の体操にとどまらず地域住民教育、自助・互助の普及を目的に行った。東京都民の介護予防・健康増進などの目的を考え西多摩・南多摩医療圏の理学療法士が下記の内容を実施した。①体力測定会②リハビリ相談会③講演 「健康寿命の延ばし方」講師 大淵修一 先生 (東京都健康長寿医療センター研究所)
西多摩南多摩ブロック 区市町村介護予防事業等に関する公開講座	西多摩・南多摩ブロック部	4	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成30年2月9日	八王子市学園 都市センター イベントホ ール	一般都民/ その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	8名 4名 98名 89名	都士会HP 都士会ニュース 西多摩・南多摩の各自 治体及び地域包括支援 センターに講習会案内 及びチラシを送付	高齢者の福祉の向上を目的に、西多摩南多摩ブロック 区市町村介護予防事業等に関する公開講座を開催した。「地域での理学療法士の関わり」～総合事業 (介護予防事業) の現状と今後について～をテーマに、① 介護予防・日常生活支援総合事業について 中澤幹夫 (多摩丘陵病院) ② 理学療法士が関わっている市町村の介護予防事業の報告した。 i) 八王子市の通所Cについて 佐々木良 (東京天使病院) ii) 羽村市の訪問Cについて 佐藤文雄 (羽村三慶病院) iii) 多摩市の介護予防・日常生活支援総合事業について 桐林亜希子 (多摩市健康福祉部高齢支援課) iv) 町田市の一般介護予防事業について 永見直明 (多摩丘陵病院) を講師に迎えシンポジウムを行い、その後、会場の参加者と意見交換を行った。
西多摩南多摩ブロック 町田市支部 町田市地域リハビリテーション活動支援事業に関する研修会	西多摩・南多摩ブロック部	4	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年10月12日 平成30年2月15日	町田市健康福祉会館 町田市市民フォーラム	その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	14名/47名/40名 12名/56名/36名	都士会HP ・町田市支部メーリング リストにて周知 ・町田市リハビリテーシ ョン連絡会にメールにて通知 ・町田市会員施設及び自宅 会員にハガキにて通知	高齢者の福祉の向上を目的に、町田市の地域リハビリテーション活動支援事業に関する研修会を実施する。第1回目は、症例提示後、グループワークを実施し、連携について検討を行った。第2回目は、通所リハ・訪問リハ・一般介護予防事業について事例を通じた発表を行い、その後にグループワークを実施。

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
市区町村及び公共性のある団体からの保健・福祉関連事業における相談事業	福祉保健局	5	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成29年4月1日～平成30年3月31日	福祉保健局	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	358名 2名 41名 41名	都士会HP 都士会ニュース	市区町村及び公共性のある団体からの保健福祉にかかわる相談や協力依頼に対して、アドバイスや理学療法士を派遣して都民に貢献した。
障害者施策に対する研修会	福祉保健局	5	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成30年3月8日	福祉保健局	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	1名 6名 26名 26名	都士会HP 都士会ニュース 都士会の他の研修会でのご案内配布、FAX通信	障害者の日常生活活動並びに余暇活動を支援することを目的として、障害者の日常生活活動支援等に関する研修会を行った。 今回は、障がい者の就労支援について、就労支援施設のサービス管理者である保科和央先生（PT）が、障害者総合支援法をもとに、制度や各サービスの内容について整理して講義した。また実際の就労支援の取り組みについて紹介した。 講師の他に、立川の家族会（スマイル立川）の榎原氏が、日ごろ家族会で話題になっていることや、リハ職に対してのメッセージについて講義した。 普段はあまり直接的支援に関わりがない病院や施設スタッフにとっても、就労支援のイメージがつかいどのように繋いでいったら良いか、それまでに何を考慮して関わるべきかなどのヒントとなる有意義な研修会となった。
平成29年度 第16回子どもの福祉機器展（キッズフェスタ）出展	小児福祉部	5	39 展示会（〇〇ショー）	自主事業	主催事業	平成29年4月14日 平成29年4月15日 平成29年4月16日	TRC東京流通センター	理学療法士/ うち都士会員数	3名/3名 3名/3名 6名/6名	都士会ニュース	4月15日～16日にTRC東京流通センターで開催した。 5回目の出展となる今回は、外出する際に使用するアイディアグッズを中心に展示して紹介した。また実際に出展した際のエピソードも一緒に掲示した。 保護者や医療関係者、企業など多くの方に興味を持って頂き、グッズの使い方や作り方などは質問が多く、ニーズが高かった。 昨年に引き続き、東京都作業療法士会、言語聴覚士会と共に3士会合同セミナーを開催しました。理学療法士協会は「足から考える子ども達の生活支援 - インソールと整形外科的治療」として部員の楠本、宗像がお話させて頂き、100名以上の方が参加した。
平成29年度 障がい児に関わる保護者・他職種向け講習会	小児福祉部	5	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年4月15日 平成29年4月21日 平成29年5月26日 平成29年6月21日 平成29年6月30日 平成29年7月8日 平成29年7月21日	モリスケ（4/15） ルノアール（新宿ビックビル店）（4/21、5/26、6/30、7/8） デニーズ（6/21） 清瀬療護園（7/8）	理学療法士/ うち都士会員数	2名/2名 6名/6名 8名/8名 2名/2名 7名/7名 6名/6名 6名/6名	都士会HP 都士会ニュース	7月8日（土）に清瀬療護園にて「重症心身障害児・者のための安全な乗り移りについて」を開催し、生活支援員や保護者、PT学生など16名が参加した。 小児福祉部員 川島、細谷より重症児・者の乗り移りの流れの中で、身体の特徴を踏まえて安心で安全な介助方法、便利な福祉用具の活用方法について講義した。 実技では、体への触れ方・床からの乗り移りと介護用リフトの体験を行った。床からの乗り移りでは、重錘とタオルを使用して作製した人形をモデルとして行い、リフト体験では「アビリティーズ・ケアネット株式会社」の3名の方にご協力頂き、リフト使用におけるメリットや使い方についてより専門的な指導を受けた。アンケートからは「介助される側の気持ちが分かって良かった」、「リフトの体験、重要性を知ることができた」など好評な内容が多かった。
東京都障害者スポーツ大会コンディショニングサポート事業	障がい者スポーツ部	5	35 相談・助言	自主事業	共催事業	平成29年4月7日 平成29年5月27日 平成29年5月28日 平成29年6月3日	社会医学技術学院（4/7） 多摩障害者スポーツセンター（5/27、5/28） 駒沢オリンピック公園総合運動場（6/3）	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	0名/6名/6名 43名/8名/8名 7名/3名/3名 50名/8名/8名	都士会HP	障がい者の支援を目的とし、第18回東京都障害者スポーツ大会、陸上競技・水泳競技において、参加選手・監督・コーチを対象としたサポート活動を実施した。陸上競技に8名、水泳競技に初日8名、2日目3名の人数を配置。競技に参加される競技者に対し、競技前のウォーミングアップ・体操指導、競技後のリラクゼーション・ストレッチなどのコンディショニングサービスを実施した。事業を開催にあたり、4月7日に部会開催。コンディショニングサポート募集告知は、都士会HPにて行い、実施内容については都士会ニュースにて報告した。
東京都障害者スポーツ大会事前研修会	障がい者スポーツ部	5	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成30年2月9日 平成30年2月18日	東京都理学療法士協会 事務局 東京都リハビリテーション病院	理学療法士/ うち都士会員数	4名/4名 16名/15名	都士会HP	障害者の支援を目的とし、東京都障害者スポーツ大会のサポート活動を行うにあたり事前研修会を実施した。大会の目的や競技種目、競技特性、障がい者スポーツ部の活動内容、実績の説明を部長の多賀より説明。その後、「視覚障害アスリートに対するコンディショニングの実際」をテーマに、B&Jクリニック お茶の水所属で、ブラインドサッカー日本代表フィジカルコーチでもある高塚政徳先生より、視覚障害スポーツの現状と課題、競技特性について講義頂いた。後半は、コンディショニングとフィジカルトレーニングの実技を実施。アイマスクをつけ視覚情報がない状態での感覚を体験しながら、視覚障害者へのトレーニング方法を学んだ。また、事業を行うにあたり、2月9日に東京都理学療法士協会事務局にて部会を開催した。
障害者スポーツ実技研修会	障がい者スポーツ部	5	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年9月9日 平成29年11月26日 平成29年11月26日 平成30年1月22日	東京都理学療法士協会事務局 首都大学東京 荒川キャンパス 体育館 神田駅前ホール会議室 専門学校 社会医学技術学院	理学療法士/ うち都士会員数	5名/5名 22名/22名 6名/6名 1名/0名	都士会HP	障がい者スポーツの特性を理解し、障がい者支援をする事を目的として、平成29年11月28日車椅子バスケットボールの実技研修会を開催した。講師は、日本車椅子バスケットボール連盟でもあり、元パラリンピック選手の三宅克己先生をお招きした。冒頭、当部員の青木より、車椅子バスケットボールのクラス分けについて講義をした後、三宅先生より、受傷してから障がい者スポーツに出会うまでの話や、競技選手としての経験談などの話を頂いた。後半は、実技にて車いすバスケの基本練習からゲームまで実施した。 本事業は第2回研修会として平成30年1月22日にブラインドサッカー実技研修会として、ブラインドサッカーを活用したワークショップを開催予定であったが、当日大雪の悪天候となり、交通機関の遅延等が発生したため講師や受講生の安全を考え、当日開催の中止を決定した。研修会中止の広報は東京都理学療法士協会ホームページにて掲載対応した。また、年度内開催について日程調整を試みたが、日程が合わず第2回研修会は中止となった。

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
理学療法フェスタ 障害者スポーツブース出展	障がい者スポーツ部	5	35 相談・助言	自主事業	共催事業	平成29年7月29日 平成29年6月9日	東京都庁 社会医学技術学院	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	1,000名/1名 /1名 0名/6名/6名	都士会HP	広報局外宣部事業である理学療法フェスタに、障がい者スポーツ部も共同事業で展示を実施した。展示内容は障がい者スポーツの紹介や東京都理学療法士協会の活動について啓発を促すポスター展示や、車椅子バスケット競技用車椅子の展示、競技説明等を行った。当日の都庁展望台は外国人の観光客がほとんどであった。事業開催にあたり、6月9日に部会を開催した。
ポッチャ甲子園	障がい者スポーツ部	5	35 相談・助言	委託事業	共催事業	平成29年7月21日	港区スポーツセンター	一般都民 理学療法士 うち都士会員数	43名 43名 15名	都士会HP	日本PT協会の共催事業として大会を開催した。 当会は後方支援として、ホームページで大会運営ボランティア募集の広報掲載した。 障がい者スポーツ部員水口がボランティア統括として参加した。 大会は、3面での同時進行でトーナメント式であり、敗退校はサブアリーナでフレンドリーマッチであった。前日の身体介助のボランティアは安全面の関係で中止となった。ボランティア内容は各学校生徒のコンディショニングや誘導および付き添いであった。 終了後、日本理学療法士協会での参加者および各学校へのアンケートを実施した。各自の求めるものと提供するもののマッチングがうまく行かないという課題が残った。
パラリンピック会場周辺のユニバーサルデザイン環境調査	国際競技大会・スポーツ理学療法推進部	5	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成30年1月14日 平成30年1月15日 平成30年2月24日	臨海副都心シンボルプロムナード公園 (1/14、2/24) 日本武道館 (1/15)	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	18名/7名/7名 19名/1名/1名 19名/17名/17名	都士会ニュース 東京都オリンピック・パラリンピック準備局HP	障害者の支援を目的とし、東京マラソンファミリーラン2018及びその試走会での環境調査を実施した。東京マラソンファミリーラン2018には理学療法士が17名、試走会には理学療法士が7名参加した。なお、この理学療法士の選出についてはこれまでに車椅子マラソンサポートに関わったことのある方から選考した。 試走会ではマラソンコースを参加者と一緒に行くことで路面の確認、コース上の障害物の確認、車椅子自乗方法の検討、スタッフの配置の確認を行った。大会中は車椅子への移乗動作のサポート、参加者と一緒に行き、路面の段差や障害物に対し注意喚起した。 東京マラソンファミリーラン2018及び試走会での事故や傷害は生じなかった。 また、日本武道館および最寄り駅の環境調査を実施し、東京オリンピック・パラリンピック準備局へ報告を行った。
シーズ・ニーズマッチング交流会 出展	理学療法関連機器開発委員会	5	35 相談・助言	委託事業	共催事業	平成30年2月20日～ 平成30年2月21日	TOC有明 4階コンベンションセンター	一般都民 理学療法士 うち都士会員数	20名 6名 6名	都士会HP 都士会ニュース	障害者自立支援機器等開発促進事業で採択された機器の一般公開に伴い、開発が進められる最新機器に関する情報収集を行うとともに関係する障害当事者や開発機関との交流し、意見交換を行った。情報収集、相談、協力依頼、商品紹介など合計20件の対応をした。
施設見学会2017	外宣部	6	34 体験活動等	自主事業	主催事業	平成29年8月1日～ 平成29年9月30日	清瀬リハビリテーション病院 世田谷記念病院 緑成会整育園 多摩川病院 緑成会病院 平成扇病院 河北リハビリテーション病院 緑風荘病院 公立昭和病院 杉並リハビリテーション病院	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	30名 80名 60名 60名	都士会HP 都士会ニュース 各都立、私立高校にポスター送付	教育機関に協力し教育の向上に資するため、理学療法士を目指している高校生を主な対象として職場見学会を開催した。希望者の学業の都合と見学受け入れ施設の日程を本会が調整し、理学療法士の役割などに関する基本的な資料は本会が作成し配布した。また、見学会終了後、施設側、見学者共にアンケート調査を行い、次年度に向けての課題の発見対応に活かした。
スポーツ障害の理学療法に関わる人材の育成事業	学校保健部	6	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年5月25日 平成29年6月15日 平成29年7月12日 平成29年8月8日 平成29年9月12日 平成29年11月21日 平成29年12月13日 平成30年1月31日 平成30年2月24日	専門学校社会医学技術学院 (5/25、6/15、7/12、8/8、9/12、11/21、12/13) 社会医学技術学院 (12/13、1/31、2/24)	理学療法士/ うち都士会員数	5名/5名 4名/4名 4名/4名 4名/4名 5名/5名 4名/4名 5名/5名 3名/3名 9名/9名	都士会HP 都士会ニュース 過去催行した研修会参加者へダイレクトメールで送付	教育機関に協力し、健康並びに教育の向上に資するため、スポーツによる外傷や青少年の精神・身体発達を学ぶための研修会を開催した。 調布市でクリニックを開業、運動器検診に携わっている医師と特別支援教育に携わっている作業療法士が講義をした。 『法改正後における学校検診の実際』 くまざわ整形外科クリニック 院長 熊澤 祐輔先生 『特別支援教育で期待されるリハビリテーション職の関わり』 専門学校 社会医学技術学院 作業療法士 兵頭 洋子先生 『中学校での指導の実際』 講師 学校保健部 原田 長

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
学校での体育活動・課外活動のメディカルサポート	学校保健部	6	34 体験活動等	自主事業	主催事業	平成29年4月2日 平成29年4月4日 平成29年4月11日 平成29年4月19日 平成29年4月21日 平成29年8月5日 平成30年2月8日	専門学校社会医学技術学院 (4/2、4/4、4/19) 江戸川区立鹿本中学校 (4/11) 渋谷区立神南小学校 (4/21) 国立市立国立第一小学校 (8/5) 世田谷区立北島山小学校 (2/8)	理学療法士/ うち都士会員数	5名/5名 11名/11名 2名/2名 4名/4名 4名/4名 1名/1名 1名/1名	都士会HP 都士会ニュース	成長期に多い傷害、食事・栄養、姿勢と靴についてサポートした。 講習後、実際に選手のフィジカルチェックを行い、意見交換をした。 世田谷区養護教諭向け研修会では、最近の子ども・成長期の傷害について共通認識を持ち、またフォローアップの方法等を話し合うことで地域社会の健全な発展と成長期の健康並びに教育の向上を図る目的で講演を行った。学校で開催される学校保健委員会の中で、現在の子どもの特徴や子どもロコモ、成長期における運動に起因する怪我の予防と対応について、学校医、小学校教職員・保護者に対し講演し意見交換を行った。 『成長期の特徴と傷害について・最近の子どもの特徴・子どもロコモとその対応』についての講義と質疑応答が行われた。
学校保健に関する研修会の開催	学校保健部	6	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年6月4日 平成29年9月3日	武蔵野赤十字病院 専門学校社会医学技術学院	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	1名/22名/21名 0名/60名/50名	都士会HP 都士会ニュース	教育機関に協力し、健康並びに教育の向上に資するため、スポーツによる外傷や青少年の精神・身体発達を学ぶための研修会を開催した。 中学校で働くスクールソーシャルワーカーの方からは青少年の心身や社会背景の現状についての講演であった。部活動の顧問をしている教諭からは部活動を取り巻く環境、生徒の指導・生徒の心理面も含めて指導について講演であった。 また、学校保健部からは運動器検診についての講演を行った。 第1回研修会 『スクールソーシャルワーカーの役割と仕事』 小平市立小平第1中学校 スクールソーシャルワーカー 本田孝枝先生 『学校教育下での傷害の実態を学ぶ』 羽村市立 羽村第三中学校 教諭 高久 かおり先生 『学校保健部の活動状況 ～特別支援学級を中心に～』 講師 学校保健部 伊東 彰 第2回研修会 『学校教育現場の実態～特に、体育・健康教育を視点にして～』 日本女子体育大学 助教 須甲理生 先生 『医療現場で出会う児童・生徒 ― こころの成長に寄り添う ―』 武蔵野赤十字病院 臨床心理士 菊池 陽子先生 『学校運動器検診』 理学療法士 隅 一樹
学校保健におけるスポーツ理学療法法の推進事業（産業技術総合研究所との共同研究）	国際競技大会・スポーツ理学療法推進部	6	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成29年4月5日 平成29年4月10日 平成29年4月27日 平成29年7月4日 平成29年7月6日 平成29年8月3日 平成29年8月25日 平成29年9月21日 平成29年11月16日 平成29年12月11日 平成29年12月20日 平成29年12月28日 平成30年2月1日 平成30年3月3日 平成30年3月7日	豊島区立富士見台小学校 (4/5、4/10、7/4、7/6、8/25、9/21、12/11、12/20、2/1、3/3、3/7) 国立研究開発法人産業技術総合研究所 (4/27、8/3、11/16、12/28)	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	2名/3名/3名 15名/3名/3名 2名/2名/2名 30名/6名/6名 10名/2名/2名 2名/2名/2名 10名/5名/5名 60名/5名/5名 2名/3名/3名 90名/5名/5名 10名/1名/1名 3名/2名/2名 1名/3名/3名 300名/2名/2名 15名/3名/3名	都士会ニュース	本事業は教育機関に協力し、健康並びに教育の向上に資する目的で産業技術総合研究所との学校安全に関する共同研究であり、豊島区立富士見台小学校を対象に怪我の予防についての取り組みを行っている。今年度は学校側から“体幹を鍛える取り組み”“跳び箱授業における怪我の予防”について依頼があり、学校オリジナルの体操を協議しながら作成し、富士見台小学校の全児童が取り組めるまで実施した。“跳び箱授業における怪我の予防”についての取り組みは、跳び箱運動の動作観察・分析を実施し、外傷発生の原因の抽出と予防プログラムの作成、跳び箱運動の指導を行った。また怪我を予防するための体育・指導支援ツール（アプリ）の開発を行った。
学校保健に係る公開講座	公開講座準備委員会	6	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成30年2月11日	都士センターホテル	学校教諭 理学療法士 うち都士会員数	14名 30名 30名	都士会HP ポスターを作成し、都内の高・中・小学校へ郵送 理学療法士に向けてはブロック部長へメール	第Ⅰ部では、学校教諭に対し「明日からできる応用行動分析における発達支援」をテーマに慶応義塾大学 教授の山本 淳一先生が講演した。また、事前資料動画を、是村由佳先生が作成した。 第Ⅱ部では、今まで公開講座準備委員会・各支部が行ってきた学校保健に関する出前公開講座の報告を行ったのち、各支部と学校教諭が協働するために必要なことをテーマにワークショップを行った。

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
小・中学校からの要請を受けての出張公開講座	公開講座 準備委員 会	6	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催 事業	平成29年9月9日 平成29年11月30日	足立区立東栗原小 学校 世田谷区立池ノ上 小学校	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	270名/7名/7名 45名/16名/16 名	都士会HP	<p>理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的に、足立区立東栗原小学校にて1年生児童62名・3年生児童64名に対して「体のやわらかさを知ろう」をテーマに、また5年生児童73名に対して、「子供のスポーツ障害の知識と今からできる予防策～あなたはケガしやすい体?～」をテーマに出張公開講座を開催した。</p> <p>講師は本会会員である古谷英孝氏と鈴木淳志氏が務め、スポーツによるケガや成長期に起こりやすいスポーツ障害の紹介、その障害の発生原因や予防について講義した。中には理学療法士を知っている児童もいた。本講座には多数の保護者も見学があった。</p> <p>講義は理学療法士の職業を説明することから始まり、1年生と3年生には成長期にタイトネスを起こしやすいハムストリングスや下腿三頭筋の柔軟性の確認方法を指導し、柔軟性を獲得するためのストレッチを児童同士で実践した。5年生は小学生同士でもできる全身的な関節可動域の確認方法やハムストリングスのストレッチ方法を実践した。</p> <p>今回は大勢に、理学療法士の職業や役割を知ってもらった機会となった。</p> <p>本講座には当委員をはじめ足立区支部の金子千香氏も参加し、今後は足立区支部と協力して事業を継続していく予定である。</p> <p>世田谷区立池之上小学校の養護教諭の方から依頼を受け、世田谷区立池之上小学校の6年生を対象とした出張公開講座を開催した。</p> <p>今回の講座は「車椅子利用者の気持ちを理解する」、「車椅子の操作方法、介助方法を理解する」ことを目的として、車椅子自乗・介助体験の出張公開講座を実施した。体験した児童は45名であった。</p> <p>当日のプログラムとして、まず車椅子の操作方法や車椅子の使用における注意点を説明した。その後、児童は2グループ（車椅子自乗体験コースと車椅子介助体験コース）に分かれ、各30分間の車椅子自乗や介助の体験を実施した。この車椅子自乗体験コースでは、蛇行運転や段差昇降、坂道歩行などを設定し、車椅子を自分で操作する体験を実施した。車椅子介助体験コースでは、自乗体験と同じ設定にし、介助する側と介助される側の双方の体験も実施した。さらに、多機能型クライミング車椅子の体験もあり、実際に乗ってもらったり、操作方法を説明した。</p>
学校保健における生涯教育に資する教育・支援	区西北部 ブロック 部	6	34 体験 活動等	自主事業	主催 事業	平成29年10月13日	練馬区南町小 学校	理学療法士 うち都士会員数	21名 21名	都士会HP 都士会ニュース	<p>教育機関に協力し、健康並びに教育の向上を目的とし、練馬区内の小学校に理学療法士が出向き、理学療法士の観点を通じて学校保健・教育に携わり、健全な発育を促すとともに、小学生の生涯教育として取り組まれる事業を行った。内容としては、同小学校 同小学校 4年生（児童 58名）を対象に「車椅子使用者の気持ちを理解する」「車椅子自走方法の介助方法・注意点を理解する」を目的として実施した。</p>
学校保健における子供たちの健やかな成長・傷害予防支援	区西北部 ブロック 部	6	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催 事業	平成29年12月5日	練馬区立光が 丘春の風小学 校	一般都民 理学療法士 うち都士会員数	80名 10名 10名	都士会HP 都士会ニュース	<p>教育機関に協力し、学校保健における子供たちの健やかな成長・傷害予防支援を目的に、「発育期におけるスポーツ障害の知識と今からできる予防策～自分で自分の体のことを知ってみよう～」をテーマに、練馬区立光が丘春の風小学校にて障害予防公開講座が実施した。練馬光が丘病院の高橋勇貴を講師に、発育期におけるスポーツ障害の観点から障害予防の重要性と実技を通じ生徒の皆さんにスポーツ障害予防体験を体験してもらった。</p>
韓国、ソウル市、の理学療法に関する調査	国際部	7	36 調査・ 資料収集	委託事業	共催 事業	平成29年10月22日	ソウル市世宗大学	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	20名 626名 6名	都士会ニュース	<p>先進的な理学療法法の確立に資することを目的として、ソウル市での学会に参加、講演を行った。また、ソウル市での理学療法法の現状を把握するため病院、施設の見学を行った。東京と医療制度の違う中、どのように工夫して市民に先進的な理学療法提供しているか等を学んだ。</p>
東京都小児リハビリテーションマップ 第3版作成準備	小児福祉 部	7	36 調査・ 資料収集	自主事業	主催 事業	平成29年5月20日 平成29年11月26日 平成30年3月7日	緑成会整育園	理学療法士/ うち都士会員数	3名/3名 1名/1名 3名/3名	都士会ニュース 小児リハビリに関係する各 各メーリングリスト	<p>昨年度、完成に至らなかった「東京都小児リハビリテーションマップ第2版」の完成作業を行った。完成したものは協会HPで公開、印刷した冊子を東京都内の福祉事務所80カ所に郵送致した。今後、掲載希望の施設は事務局に連絡してもらい、定期的に追加していく予定である。</p>
ニュースN0202の発行	広報部	7	36 調査・ 資料収集	自主事業	主催 事業	平成29年5月25日	社会医学技術学院	理学療法士 うち都士会員数	3名 3名	都士会HP 都士会ニュース 作成した刊行物 (ニュース)を会員等に 郵送	<p>理学療法士の知識技術の向上に資するため、年間を通じて都内各地で開催される各種公開講座や研修会の開催案内及び報告等を本会発行刊行物（都士会ニュース等）に掲載し、広報活動に利用した。</p>
ニュースN0203の発行	広報部	7	36 調査・ 資料収集	自主事業	主催 事業	平成29年8月25日	社会医学技術学院	理学療法士 うち都士会員数	3名 3名	都士会HP 都士会ニュース 作成した刊行物 (ニュース)を会員等に 郵送	<p>理学療法士の知識技術の向上に資するため、年間を通じて都内各地で開催される各種公開講座や研修会の開催案内及び報告等を本会発行刊行物（都士会ニュース等）に掲載し、広報活動に利用した。</p>
ニュースN0204の発行	広報部	7	36 調査・ 資料収集	自主事業	主催 事業	平成29年11月25日	社会医学技術学院	理学療法士 うち都士会員数	3名 3名	都士会HP 都士会ニュース 作成した刊行物 (ニュース)を会員等に 郵送	<p>理学療法士の知識技術の向上に資するため、年間を通じて都内各地で開催される各種公開講座や研修会の開催案内及び報告等を本会発行刊行物（都士会ニュース等）に掲載し、広報活動に利用した。</p>
ニュースN0205の発行	広報部	7	36 調査・ 資料収集	自主事業	主催 事業	平成30年2月25日	社会医学技術学院	理学療法士 うち都士会員数	3名 3名	都士会HP 都士会ニュース 作成した刊行物 (ニュース)を会員等に 郵送	<p>理学療法士の知識技術の向上に資するため、年間を通じて都内各地で開催される各種公開講座や研修会の開催案内及び報告等を本会発行刊行物（都士会ニュース等）に掲載し、広報活動に利用した。</p>

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
都民への広報	広報部	7	36 調査・ 資料収集	自主事業	主催 事業	平成30年2月10日 平成30年2月18日	東都リハビリテ- ション学院 東都リハビリテ- ション学院	理学療法士/ うち都士会員数	1名/1名 1名/1名	都士会HP 都士会ニュース 新聞掲載	理学療法を通じた都民の医療・保険・福祉の増進、地域社会の健全な発展を目的、高齢者の福祉の向上を目的、障害者の支援を目的、理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に資するため、関連事業等を東京新聞に掲載し、広報活動に利用した
機関誌『理学療法東京 第5号』の編集・発行	機関誌編 集部	7	36 調査・ 資料収集	自主事業	主催 事業	平成29年4月14日 平成29年6月9日 平成29年11月24日 平成30年2月12日	東京女子医科大学 病院	理学療法士 うち都士会員数	4名/4名 4名/4名 4名/4名 4名/4名	都士会HP 都士会ニュース 東京都理学療法士協会 の会員から投稿を募集	理学療法に関連する各分野の専門家に原稿依頼をして掲載し、都内に勤務する理学療法士の知識や技術を学ぶことで、都民によりよいリハビリテーションサービスを行えるようにした。論文をまとめたり研究結果を発表するなど、都内理学療法士の質向上を目指し、経験の浅い都内勤務の理学療法士に投稿できる機会を提供した。東京都で行われている理学療法の状況を機関誌を通して都内の理学療法士に広く知らせ、都民に均一したサービスが行えるようにした。
メディカルスタッフ養成事業 用テキスト作成	国際競技 大会・ス ポーツ理 学療法推 進部	7	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催 事業	平成30年1月15日 平成30年3月8日	長汐病院 アットビジネスセ ンター池袋駅前別 館702号室	理学療法士/ うち都士会員数	6名/6名 4名/4名	都士会ニュース	理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究のため、スポーツ理学療法に関わる養成事業用テキストの作成をおこなった。スポーツ局員及びブロック部のスポーツ担当で役割分担について話し合い、テキスト作成の検討やハンドリングスキルの確認をおこないテキストの案を作成した。
東京都三士会生活期共通評価 表難病版の開発および普及啓 発に関する事業	生活期共 通評価表 作成委員 会	7	36 調査・ 資料収集	自主事業	主催 事業	平成29年6月17日 平成29年9月14日 平成30年1月27日 平成30年2月3日	首都医校 (6/17、 9/14) 社会医学技術学院 (1/27、2/3)	その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	7名/17名/20名 2名/25名/22名 3名/20名/19名 5名/20名/18名	都士会HP 都士会ニュース	東京都理学療法士協会・東京都作業療法士会・東京都言語聴覚士会が共同で作成した生活期共通評価表を用いた研修会において、難病版評価表について、調査を実施した。得られた結果をもとに、今後の評価表についての検討を行い、評価表作成の基礎資料を作成した。
新人教育プログラム第3回研修 会	学術局	8	33 講座、 セミナー、 育成	委託事業	主催 事業	平成30年11月26日 平成30年1月10日	首都大学東京 荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員数	260名 207名	都士会HP 都士会ニュース	研修会を実施した。 必須初期研修 (A×5コマ) A-1 理学療法と倫理 A-2 協会組織と生涯学習システム A-3 リスクマネジメント (安全管理と感染予防含む) A-4 人間関係および接遇 (労働衛生含む) A-5 理学療法における関連法規 (労働法含む) 学術局会議を開催した 議題：(1)平成29年度事業計画・進行状況について (2)平成30年度事業計画・予算案について (3)その他
運動器疾患とPNF	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	共催 事業	平成29年5月28日	首都大学東京荒川 キャンパス	理学療法士 うち都士会員数	29名 9名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上を目的として、運動器とPNFに関する講義及び実技の講習会を開催した。講義は柳澤健先生、今井基次先生と新井光男先生の3名の先生に依頼した。公募方法は、日本理学療法士協会HPと日本理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象として募集した。
脊柱・体幹の触診機能解剖	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催 事業	平成29年6月10日、11 日	首都大学東京 荒川キャンパス 運動療法室	理学療法士 うち都士会員数	40名 15名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協会HP	理学療法士の知識・技術の向上を目的として、2日間のプログラムで脊柱・体幹の触診と機能解剖に関する講義および実技を開催した。講師は竹井仁、宇佐英幸、小川大輔、松村将司の4名の先生に依頼した。公募方法は、日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象として募集した。
パーキンソン病の評価と治療	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	委託事業	主催 事業	平成29年6月24日、25 日	順天堂東京江東高 齢者医療センター	理学療法士 うち都士会員数	25名 9名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法及びリハビリテーション等に関連した専門的知識・技術の向上を図り、都民に質の高いサービスを提供する理学療法士を育成することを目的に、理学療法士を対象としてパーキンソン病患者に対する評価と治療について研修会を行った。
認知症患者の日常生活動作練 習	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催 事業	平成29年6月25日	帝京科学大学	理学療法士 うち都士会員数	52名 27名	都士会HP 日本理学療法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上のために理学療法の介入が難しいとされてきた認知症患者に対して、行動変容を導く可能性を高める介入方法として、応用行動分析学を用いた分析と介入方法について基礎から学んでいく講習会を実施した。具体的には、①応用行動分析学の基礎、②認知症患者に対する行動分析的介入、③事例紹介、④分析と介入計画の実際について講演をいただいた。講師は、この分野に精通した高知リハビリテーション学院山崎裕司氏、了徳寺大学加藤宗規氏、湘南医療大学大森圭貢氏、帝京科学大学豊田輝氏に依頼した。

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	フェロ ト	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
徒手療法概論	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年7月2日	法政大学多摩キャンパス	理学療法士 うち都士会員数	39名 16名	都士会HP	現職理学療法士向けに徒手療法の基礎的技術を学ぶことができる講習会を開催した。内容は主に上下肢の関節の機能障害を改善する手技の教授を行った。参加者は1～3年程度の経験の浅い者から中堅者まで幅広い経験層にわたっていた。講習内容は手技の前提となる治療理論を運動学的・解剖学的に解説した後、実技練習へと移行した。講習会終了後のアンケート結果の内容良く、「実践的な技術が身についた」「臨床での疑問が解決できた」など概ね支持的な内容が大半を占めた。
人工膝関節置換術の理学療法ガイド	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	委託事業	主催事業	平成29年7月2日	苑田会人工関節センター病院	理学療法士 うち都士会員数	21名 3名	都士会HP 都士会ニュース その他	医師による変形性膝関節症の診断や治療方法の解説、骨模型を用いた人工膝関節置換術の手術方法のデモンストレーションを行った。術前と術後早期から回復期に対する理学療法の評価と治療のポイントを解説。また、人工膝関節の研究の現状と研究の進め方について説明した。
痛み・麻痺・運動機能障害に対するマイオチューニングアプローチの理論と実践	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年9月8日、9日	帝京科学大学千住キャンパス	理学療法士 うち都士会員数	30名 15名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協会HP	現職理学療法士向けに痛み・麻痺・運動機能障害に効果を示すマイオチューニングアプローチの技術を学ぶことができる講習会を開催した。内容は主に肩甲骨周囲の骨や筋の触察、筋の痛みの評価、痛みの治療に関するものとした。参加者は1～3年程度の経験の浅い者から中堅者まで幅広い経験層にわたっていた。講習の前半においては、生理学や解剖学を基礎とした治療理論についての講義を行い、その後実践的な実技練習へと移行した。受講生に対して密度の高い実技指導が行えるように十分な人数の技術講師を採用した。受講を終えた受講生からは、「痛みの評価について深く学ぶことができた」「明日の臨床から使える実践的な技術を学ぶことができた」というような感想を聞くことができた。
脳性麻痺児の評価と治療	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	共催事業	平成29年7月8日、9日	順天堂大学医学部附属順天堂医院	理学療法士 うち都士会員数	27名 7名	都士会HP 都士会ニュース その他	理学療法及びリハビリテーション等に関連した専門的知識・技術の向上を図り、都民に質の高いサービスを提供する理学療法士を育成することを目的として脳性麻痺児の評価と治療について理学療法士を対象に研修会を行った。
臨床教育の方法論	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年8月5日、6日	帝京科学大学	理学療法士 うち都士会員数	49名 8名	都士会HP 日本理学療法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、行動分析学に基づいた教育技法について研修会を開催した。具体的には、1) ひとの行動の法則、2) 行動分析学からみたクリニカルクラックシップ、3) 臨床教育における実践報告(2施設)、4) やる気を引き出す患者教育①～運動療法・日常生活動作練習～、5) やる気を引き出す患者教育②～高次脳機能障害から認知症～、6) やる気を引き出す新人・若手教育をテーマに講演をいただいた。講師は、この分野に精通した高知リハビリテーション学院山崎裕司氏、了徳寺大学加藤宗規氏、湘南医療大学大森圭賢氏、帝京科学大学豊田輝氏、セコマディック病院小諸信宏氏、東船橋病院松井剛氏、上村朋美氏に依頼した。
肩関節理学療法アプローチの基礎と臨床	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年8月6日	首都大学東京荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員数	124名 34名	日本理学療法士協会HP 日本理学療法士協会 ニュース	理学療法士の知識・技術向上のため、来間弘展先生、高間省吾先生、村木孝行先生、南島大輔先生に講師を依頼し、肩関節の基本的な解剖学・バイオメカニクスを理解し、その上での基本的な評価方法を習得するための講義を開催した。
筋膜リリース—基礎から応用—	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	委託事業	主催事業	平成29年8月11日、13日	首都大学東京荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員数	43名 8名	都士会HP 都士会ニュース	四肢・体幹に対する基礎的な筋膜リリース手技から、骨盤帯・頭頸部・顎関節機能異常などに対する筋膜リリース応用、小児に対する治療アプローチまでを学んだ。
職域拡大セミナー（胸椎・胸郭の理学療法）	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年9月2日、3日	法政大学多摩キャンパス	理学療法士 うち都士会員数	30名 11名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上を目的として、胸椎・胸郭の理学療法に関する講義及び実技の講習会を開催した。講義は安藤正志、中山彰博の2名の先生に依頼した。二日目は中山先生が急遽来れなくなり、代わりに朝倉敏道先生がアシスタントを行った。胸椎・胸郭の機能解剖の理解から機能評価、治療アプローチについて指導された。
モビライゼーションPNF手技を用いた中枢疾患へのアプローチ—筋力強化とADLの向上—	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	共催事業	平成29年9月3日	首都大学東京荒川キャンパス講堂	理学療法士 うち都士会員数	31名 9名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協会HP、 日本理学療法士協会 ニュース	理学療法士の知識・技術向上を目的として、中枢疾患患者へモビライゼーションPNF手技を用いる方法（講義及び実技）について講習会を開催した。講習会は新井光男先生、白谷智子先生の2名の先生に依頼した。
疼痛の評価と治療	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年11月12日	法政大学多摩キャンパス	理学療法士 うち都士会員数	43名 10名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上を目的として、特に運動器系疾患における疼痛の評価と治療に関する講義及び実技の講習会を開催した。講義は安藤正志先生に、アシスタントは岡野智先生に依頼した。内容としては運動器障害に伴う疼痛の概念、次に1疼痛の客観的評価方法、2 徒手軟部組織由来の疼痛制御方法、3 非収縮組織（関節組織）由来の疼痛制御方法、4 疼痛制御を持続させるためのペインフリーテープによる制御について実技を通しての講義が行われた。
運動療法の生理学的根拠	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	共催事業	平成29年12月3日	首都大学東京荒川キャンパス講堂	理学療法士 うち都士会員数	102名 46名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協会HP、 日本理学療法士協会 ニュース	理学療法士の知識向上を目的として、運動療法の生理学的根拠（講義）について講習会を開催した。講習会は柳澤健先生、新井光男先生の2名の先生に依頼した。

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
顎関節症に対する徒手理学療法	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年12月16日 17日	首都大学東京荒川 キャンパス運動療法 教室	理学療法士 うち都士会員数	41名 28名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協会HP	理学療法士の知識・技術の向上を目的として、2日間のプログラムで顎関節症に対する徒手理学療法に関する講義および実技を開催した。講師は竹井仁、遠藤優の2名の先生に依頼した。公募方法は、日本理学療法士協会HPにより理学療法士を対象として募集した。
モビライゼーションPNF手技を用いた運動器疾患へのアプローチ痛みの軽減と筋力強化の生理学的理論に基づいたアプローチ	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	共催事業	平成30年3月4日	首都大学東京荒川 キャンパス運動療法 教室	理学療法士 うち都士会員数	31名 3名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協会HP、 日本理学療法士協会 ニュース	理学療法士の知識・技術向上を目的として、運動器疾患患者へモビライゼーションPNF手技を用いる方法（講義及び実技）について講習会を開催した。講習会は新井光男先生、白谷智子先生の2名の先生に依頼した。
成人片麻痺の評価と治療	研修部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成30年3月10日、11 日	順天堂大学医学部 附属順天堂医院	理学療法士 うち都士会員数	30名 10名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協会HP	本講習会では、専門家としての自覚と自己研鑽にむけた一助となるために必要な基本的な神経疾患に対する評価と評価の習得を目的として、以下の研修を行った。 ①講義（評価と治療についてClinical resoning、Locomotion）②ビデオケーススタディー③実技（臥位⇄座位、立ち上がり、立位バランス、歩行）
新人教育プログラム第1回研修会	新人教育部	8	33 講座、 セミナー、 育成	委託事業	主催事業	平成29年7月23日	首都大学東京荒川 キャンパス	理学療法士 うち都士会員数	367名 344名	都士会HP 都士会ニュース	参加希望の理学療法士を対象に、理学療法士としての広い知識・技術の普及と新人の育成を目的とした研修会を実施した。 必須初期研修（A×5コマ） A-1 理学療法と倫理 A-2 協会組織と生涯学習システム A-3 リスクマネジメント（安全管理と感染予防含む） A-4 人間関係および接遇（労働衛生含む） A-5 理学療法における関連法規（労働法含む）
新人教育プログラム第2回研修会	新人教育部	8	33 講座、 セミナー、 育成	委託事業	主催事業	平成29年9月2日	首都大学東京荒川 キャンパス	理学療法士 うち都士会員数	329名 307名	都士会HP 都士会ニュース	参加希望の理学療法士を対象に、理学療法士としての広い知識・技術の普及と新人の育成を目的とした研修会を実施した。 B-1 一次救命処置と基本処置 B-3 統計方法論 E-1 臨床実習指導方法論
新人教育プログラム第3回研修会	新人教育部	8	33 講座、 セミナー、 育成	委託事業	主催事業	平成29年11月26日	首都大学東京荒川 キャンパス	理学療法士 うち都士会員数	260名 207名	都士会HP 都士会ニュース	研修会を実施した。 必須初期研修（A×5コマ） A-1 理学療法と倫理 A-2 協会組織と生涯学習システム A-3 リスクマネジメント（安全管理と感染予防含む） A-4 人間関係および接遇（労働衛生含む） A-5 理学療法における関連法規（労働法含む） 学術局会議を開催した 議題：（1）平成29年度事業計画・進行状況について （2）平成30年度事業計画・予算案について （3）その他
新人教育プログラム第4回研修会	新人教育部	8	33 講座、 セミナー、 育成	委託事業	主催事業	平成30年2月3日	首都大学東京荒川 キャンパス	理学療法士 うち都士会員数	361名 331名	都士会HP 都士会ニュース	参加希望の理学療法士を対象に、理学療法士としての広い知識・技術の普及と新人の育成を目的とした研修会を実施した。 B-2 クリニカルリーズニング D-1 社会の中の理学療法 D-2 生涯学習と理学療法の専門領域
教材資料貸出	教材資料部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年4月1日～平 成30年3月31日	順天堂東京江東高 齢者医療センター	理学療法士 うち都士会員数	37名 37名	都士会HP 都士会ニュース 機関誌「理学療法東 京」	理学療法の知識や技術の向上に貢献するため、都士会所有の教材の貸出を行った。 東京都理学療法士学会のハンズオンセミナーをビデオ撮影し、新規教材の作成を行った。
英語論文紹介	教材資料部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年4月1日～平 成30年3月31日	順天堂東京江東高 齢者医療センター	理学療法士 うち都士会員数	6名 6名	都士会HP 都士会ニュース 機関誌「理学療法東 京」	理学療法の知識や技術の向上に貢献する英語論文6本を日本語要約し、解説とともにHP上で紹介を行った。
EBMと理学療法に関する講習会	教材資料部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年10月21日	順天堂東京江東高 齢者医療センター	理学療法士 うち都士会員数	58名 38名	都士会ニュース 理学療法士協会研修 案内	講師に古谷英孝先生（苑田第三病院 東京脊椎脊髄病センター）、佐藤和命先生（順天堂医院）、渡部幸司先生（順天堂東京江東高齢者医療センター）を招き、理学療法士の知識・技術向上を目的に、英語論文の読み方やその臨床応用の具体的方法について、実用的なEBMに関する講習会を行った。

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	フェックボ ^o イン ト	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
介護報酬に関する研修会	介護報酬部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年10月19日	アットビジネスセンター池袋駅前別館	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	22名 65名 63名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上を目的に、介護報酬に関する研修を行なった。テーマは、「今の潮流からみえてきたこと 介護報酬改定の論点整理」とし、現在までの経過と、今後の展望、そして今すべきことについての研修を行った。
第5回東京都小児理学療法セミナー	小児福祉部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年8月25日 平成29年9月22日 平成29年10月7日	ルノアール（新宿ビックスビル店） (8/25、9/22) 東京工科大学 (10/7)	一般都民/ その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	0名/0名/5名/5名 0名/0名/7名/7名 3名/33名/141名/78名	都士会HP 都士会ニュース 小児リハビリに関係する各メーリングリスト 東京都作業療法士会、 言語聴覚士会	10月7日（土）、東京工科大学にて「発達障害」をテーマに“「動く」が「こころ」と「からだ」をつくる”をとして同志社大学赤ちゃん学研究センター センター長の小西行郎 先生（小児科医）を講師として開催した。定員80名に対して200名以上の申し込みがあったが、講師の厚意もあり全ての方を受講可能とした。当日は、PTだけでなく、OTやSTなど多くの職種や学生など約200名が参加した。発達障害について様々な支援方法が模索され、研究も進んでいるが、まだまだ分からない事が多い中、小西先生の睡眠や生体リズム障害に関する内容は新しく、子ども達の生活を支援していく多くの職種にとって今回のセミナーが重要な情報共有の機会となった。アンケートは「発達障害について睡眠障害などを考えたことがなかったので大変有意義なセミナーだった」、「新しい考え方を分かりやすく教えてもらえて良かった」など反響の大きいセミナーとなった。
卒後教育研修会	介護保険部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成30年3月15日	中野サンプラザ	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	1名 5名 29名 21名	都士会HP 地域活性局からの広報 都内老健施設への ファックス	高齢者の福祉の向上に資するため、主にリハビリ職員を中心に、福祉用具に関する知識を身に付けるための研修を開催した。タイトルを「在宅支援で役立つ福祉用具の知識～福祉用具専門員の役割と福祉用具選定や住宅改修のポイント～」とし、福祉用具貸与業者に勤務する福祉用具専門相談員を講師でお招きした。福祉用具に関する制度、福祉用具専門相談員の業務内容、在宅生活でよく使用される福祉用具、福祉用具の選定のポイント、車椅子やクッションの製品による違い、住宅改修についてなどを講義して頂いた。また、車いす、クッション、シルバーカー、歩行車、杖などを持ってきて頂き、参加者を3つのグループに分け、福祉用具に触れてもらった。福祉用具貸与業者（株式会社アースシステム）からアシスタントも派遣して頂き、グループで現物を体験してもらった時は、参加者が自然と業者に質問ができており、非常にいい雰囲気であった。アンケート結果も、非常に好評であった。福祉用具の種類が多くあることを知れた、住宅改修の実際のスライドが勉強になった、福祉用具に実際触れられて良かった、今後は福祉用具専門相談員と連携したい、などの意見が多く、研修の目的がおおむね達成できた。広報では、会員施設への一斉ファックスが比較的認知度を高めた。事業内容が好評であったため、次年度の事業にも組み込むことを検討する。
基礎研修会	介護保険部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成30年2月24日	TKP新宿カンファレンスセンター	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	1名 7名 10名 9名	都士会HP 地域活性局からの広報 都内老健施設への ファックス	高齢者福祉の向上に資するため、介護保険制度に関する基礎知識や、実際に行われているリハビリテーションを学ぶための研修会を開催した。対象は主に理学療法士で介護保険分野に従事している期間が浅い方や未経験の方、その他リハビリテーション専門職種、理学療法士養成校学生、一般都民の方も参加可能とした。講師には介護保険領域に従事している理学療法士を2名招いた。介護保険制度では介護報酬改正にも少し触れ、制度概要や地域包括ケアシステムの背景についての講演であった。もう一つは医療機関とは違う老健での理学療法士の役割や理学療法の実践、チームアプローチ、QOLといったポイントを中心に解説された。広報の期間が短かったことで集客が少なかった。また、隣の会場の騒音があったことや、講師の時間配分や資料の見にくさなどに対して、アンケートで意見があった。騒音に対しては会場事務局に介入してもらったが次年度の検討課題とした。
テーピング研修会	スポーツイベントサポート部	8	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年5月9日 平成29年5月31日 平成29年6月21日	東京明日佳病院 (5/9) エバーウォーク両国 (東京都墨田区) (5/31、 6/21)	理学療法士/ うち都士会員数	6名/6名 31名/31名 26名/26名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士のスポーツ活動現場において必要な知識・技術の向上を目的として、特にスポーツ現場で多い障害である足関節捻挫に対するテーピング研修会を2回にわたり開催した。講師にスポーツ局次長の板倉尚子先生（日本女子体育大学健康管理センター）をお招きし、靭帯損傷、筋損傷のメカニズムと、テーピングの種類特性を織り交ぜながら実技講習を実施した。

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
オリンピック・パラリンピックに関わる人材の育成事業	国際競技大会・スポーツ理学療法推進部	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年6月24日 平成29年6月24日 平成29年8月2日 平成29年9月6日 平成29年9月24日 平成30年3月17日 平成29年6月24日 平成29年6月24日 平成29年8月2日 平成29年9月6日 平成29年9月24日 平成30年3月17日	国士館大学防災・救急救助総合研究所 (5/27) 社会医学技術学院 (6/24) 滝野川区民センター (8/2、9/6) 臨床福祉専門学校 (9/24) 日本女子体育大学健康管理センター (3/17)	理学療法士/ うち都士会員数	43名/43名 69名/69名 30名/30名 27名/27名 57名/57名 13名/13名 46名/46名 69名/69名 43名/43名 30名/30名 27名/27名 57名/57名 13名/13名 46名/46名	都士会ニュース 国際競技大会・スポーツ理学療法推進部登録者にメール配信 3月17日のみブロック部・支部スポーツ担当者にメールで通知し推薦者を募集	理学療法士の知識・技術向上のためオリンピック・パラリンピックに関わる人材の育成事業として、以下の研修会を実施した。 1) 応急手当研修会Part1 講師：月ヶ瀬恭子先生、東村めい先生、山田百代先生（国士館大学防災・救急救助総合研究所） 内容：一次救命処置（心肺蘇生法、AEDの使用法）および搬送法について 心肺蘇生法の特に心臓マッサージについて、実施したリズム、リモデリングの量など客観的に画面で見ることの出来る機器にて練習した。AEDの重要性、使用についての注意点を指導頂いた。緊急時の搬送法（1人法、2人法）を実際の演技でご指導頂いた。 2) 応急手当研修会Part2 講師：月ヶ瀬恭子先生（国士館大学防災・救急救助総合研究所） 内容：スポーツ現場における応急手当（固定、止血）の方法 三角巾での直線圧迫止血法、間接圧迫止血法について演技を中心に実施した。 シーネを用いた上下肢の固定法を実際の現場を想定して実施した。 3) 4) フェンシング試合会場サポート事前研修会 開催日3) 8月2日 4) 9月6日 講師：山本耕司先生（東京都フェンシング協会会長）、辻村真一郎先生（東京都フェンシング協会専務理事） 内容：フェンシング専門用語集などを用いて、フェンシングの成り立ちから歴史についてご説明頂いた。 準備運動、剣の持ち方や基本姿勢を実際の演技を交えながら指導頂き、選手が実施するようなフットワーク練習を行い各個人の身体で競技特性を理解した。 5) スポーツ現場で安全にサポートするための技能テスト オリンピック・パラリンピックに関わる人材を育成することを目的に技能テストを行った。このテストはスポーツ局が協力する各競技の大会などへ理学療法士を派遣するにあたり下記の基本的な技術確認を実施することを目的とした。テスト合格者は、順次競技大会へのサポート事業へ参加して行く予定である。 1. 固定法 講師：月ヶ瀬恭子先生（国士館大学防災・救急救助総合研究所）、田中翔太先生 内容：副子を用いて右手関節を綿包帯で固定する。右上肢を三角巾でつるす 2. 搬送法 講師：月ヶ瀬恭子先生、田中翔太先生 内容：2人組での搬送法（体幹側と下肢側）を実施する。 3. テーピング 講師：武藤美沙子先生、只野愛子先生 内容：足関節に対する基本のテーピングを3分で実施する シナリオテスト 講師：福井孝幸先生、上村聡先生、柏崎陽有先生 内容：スポーツ現場で急性外傷が発生した状況を想定し初期評価を行う。
第36回東京都理学療法学会大会	第36回学術大会委員会	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年6月18日	練馬区立練馬文化センター/ Coconeriホール	一般都民 理学療法士 うち都士会員数	605名 807名 769名	都士会HP 都士会ニュース 研修会等でのチラシの配布 FAX通信 各会員施設へのポスター郵送など	理学療法及びリハビリテーション等に関連した専門知識・技術向上を図り、都民に質の高いサービスを提供する理学療法士の育成を目的とし、学術的および臨床的側面の強化と研鑽を支援するための学会を開催した。 今回の学会テーマは「都民とつくる地域リハビリテーション」とし、理学療法および医学等の関連領域に関するセミナー・教育講演・ならびに理学療法に関する基礎研究・臨床研究の成果についての発表を行った他、「創る地域活動！～地域の皆さんと理学療法士の協働～」と題し、都民参加型の企画を実施した。 総参加者数、1412名が来場した。
臨床実習指導者・養成校教員向け公開講座	公開講座準備委員会	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成30年2月18日	東京医科歯科大学医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員数	70名 54名	都士会HP FAX通信 日本理学療法士協会HP	理学療法士の育成に関わる教員や、臨床実習指導者への教育プログラムにおけるガイドラインの変更点や具体的な実習方法などをを中心に、4名の講師（網本和：首都大学東京、小林賢：慶応大学病院、大橋ゆかり：茨城県立医療大学、間瀬教史：甲南女子大学）を迎え、講演した。 改定後のカリキュラムは、平成32年に入学する学生から適応となり、実習指導者は16時間の指導者講習を受講することが義務づけられる事となった。
東京都三士会生活期共通評価表訪問版の普及啓発ならびに見直しに関する事業	生活期共通評価表作成委員会	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年6月27日 平成30年1月27日	首都医校 社会医学技術学院	その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	7名/17名/20名 3名/20名/19名	都士会HP 都士会ニュース	東京都理学療法士協会・東京都作業療法士協会・東京都言語聴覚士協会が共同で作成した、『東京都三士会共通「効果の見える生活期リハビリテーション評価表（訪問版）」』を用いて、研修会を実施した。
東京都三士会生活期共通評価表通所版の普及啓発ならびに見直しに関する事業	生活期共通評価表作成委員会	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成29年9月14日 平成30年2月3日	首都医校 社会医学技術学院	その他医療従事者/ 理学療法士/ うち都士会員数	2名/25名/22名 5名/20名/18名	都士会HP 都士会ニュース	東京都理学療法士協会・東京都作業療法士協会・東京都言語聴覚士協会が共同で作成した、「リハビリテーションマネジメント加算におけるリハビリテーション計画書（アセスメント）記載マニュアルver.1.0」を用いて、研修会を実施した。
労務管理に関する研修会	ライフサポート部	9	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成30年3月23日	東京医科歯科大学医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	22名 19名	都士会HP 都士会ニュース SNS (facebook等)への広報	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉の向上を目的に、各施設のリハビリテーション部門のPT管理者を対象に、円滑な組織運営や職員支援を行うため労務管理等の研修会を開催した。 また、今年度より講習会内にて託児スペースを設置することとし、今後もより広いニーズに対応していく。 ・内容： 「ハラスメントを回避し、行動変容を導くコミュニケーション術」 「ブラック職場とならないために知っておきたい労働法規」 ・講師：了徳寺大学 教授 加藤宗規 先生 ・日時：2018年3月23日（金） 18:30～21:40（受付開始18:00） ・場所：東京医科歯科大学医学部附属病院 M&Dタワー 11階 大学院講義室3

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
就労支援のための技術講習会	ライフサポート部	9	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年12月10日	東京医科歯科大学 医学部附属病院	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	6名 158名 148名	都士会HP 都士会ニュース SNS (facebook等)への広 報	会員への就労支援を目的として、基礎技術・知識や専門スキル向上のための講習会を開催。 テーマ：「新人及び離職者に向けた疾患別リスク管理研修会」 内容：①運動器疾患のリスク管理 講師：田中友也（苑田会人工関節センター病院） ②脳血管疾患のリスク管理 講師：三谷祥子（東京医科歯科大学医学部附属病院） ③呼吸器疾患のリスク管理 講師：小川英臣（東京医科歯科大学医学部附属病院） ④内部疾患のリスク管理 講師：江藤啓介（台東病院）
ウイメンズヘルスに関する講習会	ライフサポート部	9	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成30年2月25日	東京医科歯科大学 医学部附属病院	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	1名 2名 35名 32名	都士会HP 都士会ニュース SNS (facebook等)への広 報	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的に女性の生涯にわたる健康をサポートすることを目的とした知識・技術に関する講習会を開催。 また、今年度より講習会内にて託児スペースを設置することとし、今後もより広いニーズに対応していく。 ・内容：「産前産後のマイナートラブルと理学療法による予防介入」 ・講師：東京医科歯科大学医学部附属病院 リハビリテーション部 永見倫子 先生
理学療法士の動向把握と職員支援に関する調査	ライフサポート部	9	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成30年3月31日	東京医科歯科大学 医学部附属病院	理学療法士	116名	都士会HP 都士会ニュース FAX通信 SNS (facebook等)への広 報 講習会でのチラシ提供	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉の向上を目的に、会員の動向の把握と必要となる勤務状況・環境、職員支援に関して調査し、今後学会等にて報告していく。 ワークライフバランスに関する調査と題して、都士会HP上にて、「より働きやすい環境でのワークライフバランスの構築と地域包括ケアシステム・人材バンクに関するアンケート」を作成して、調査実施(来年度も継続)。
指定管理者研修開催	渉外局	9	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年10月14日	東京衛生学園	理学療法士 うち都士会員数	53名 50名	都士会HP FAX通信	経験の浅い理学療法士が大量に養成されているが、質の低下も言われ始めている。理学療法士の質を高めていく組織的な活動が急務となっており、またそれを実現する管理者の育成およびネットワーク構築が必要となっているため、管理者の人材育成制度として、日本理学療法士学会で「協会指定管理者（初級）」の制度を設定された。それを受け、研修会を開催した。前期では都道府県の指定管理者研修制度を管理している。日本理学療法士協会の佐々木常務理事と当会会長が講演を行った。
介護報酬に関する情報収集調査に関する事業	介護報酬部	9	36 調査・ 資料収集	自主事業	主催事業	平成30年2月16日	都士会員在籍施設	理学療法士 うち都士会員数	286名 286名	都士会HP	都民都民に対する情報提供を主目的に、東京都内の介護保険施設に勤務する理学療法士の現状を把握し、介護保険による質の高い理学療法を提供できる環境整備を検討することにより都民の健康に寄与する為のアンケート調査を実施。その結果は、当協会HPへ掲載した。
倫理規程・厳守に関する東京都理学療法士協会会員への倫理的教育及び情報の周知と把握(スクリーンセイバー作成)	倫理委員会	9	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年6月18日 平成29年10月26日	練馬区文化センター・ココネリ ホール 赤羽会館（小ホール）	一般都民/ 理学療法士/ うち都士会員数	605名/807名/769名 0名/24名/24名	都士会HP 都士会ニュース	①理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に資するため、理学療法士の倫理厳守の意識を高めることを目的として「倫理規定」に関する啓発活動を実施した。具体的には、本会主催の学会及び講習会などにおいて、学会に参加した理学療法士に周知するとともに、本会発行のニュース内に倫理厳守を啓発する内容を掲載した。東京都理学療法学会大会、各ブロック学会大会において、ハラスメントに関するスライドショーを作成し、理学療法士の倫理における啓蒙活動を行った。また、参加した理学療法士に対してアンケートを実施し、都内における理学療法士の倫理意識の向上に必要なことを聴取した。聴取した情報をもとに、次年度のスクリーンセイバーの内容検討に生かした。 ②理学療法士賠償責任保険の対象範囲を知るとともに、医療事故の当事者となった場合における対応方法や理学療法業務における身分保障に必要な専門的な知識を知る。身分保障に関する知識を知ることで自分を守り、対象者を守るための知識を伝えた。
韓国ソウル市理学療法士協会より講師招聘の講習会	国際部	10	33 講座、 セミナー、 育成	自主事業	主催事業	平成29年6月18日	練馬区文化センター	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員数	605名 5名 802名 769名	都士会HP ポスター FAX通信	本講演会目的はアジアの先駆的活動を知り、先進的な理学療法法の確立である。韓国で行われている理学療法について先駆的に取り組んでいる理学療法士が講演を行った。本邦も国際化が進む中、韓国での先進的な取り組みについての話であった。特別講演は「韓国地域社会理学療法における法制度の分析及び今後の課題」、一般演題は小児リハビリテーションについてヘ ソンジョン先生とキム ホンジョン先生が演題発表を行った。
第1回理事会	総務部	11	58 公益性 が無いそ 他の事業	自主事業	主催事業	平成29年4月14日	東京医科歯科大学 医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	51名 51名	メールにて開催案内送 付	各局部委員会報告（50周年事業準備委員会に関して、ソウル市会との今後の体制に関して、新聞掲載内容に関して、東京都リハビリテーションマップの配布方法に関して、学生向け施設見学会の実施期間に関して、協会指定管理者研修システムに関して、各研修会における新人教育プログラムの単位認定に関して、各都員の追加承認に関して等）について話し合った

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	フェック イン ト	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
第2回理事会	総務部	11	58 公益性 が無いそ 他の事 業	自主事業	主催 事業	平成29年5月19日	東京都理学療法士 協会 事務局	理学療法士 うち都士会員	26名 26名	メールにて開催案内送 付	各局部委員会報告（定時総会の議題や日程に関して、平成28年度決算書類に関して、第36回東京都理学療法士学 術大会に関して、東京都パラリンピック選手発掘プログラムのポスター・チラシの配布に関して、シルバー体操 普及に関して、体力測定シートの活用に関して、地域包括ケアシステム委員会の平成29年度の新規事業に関し て、通いの場支援事業に関して、各局・部員の追加承認に関して等）について話し合った。
平成29年度 代議員総会	総務部	11	58 公益性 が無いそ 他の事 業	自主事業	主催 事業	平成29年6月10日	東京医科大学 医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	124名 124名	メールにて開催案内送 付	代議員110名（委任状24、議決権行使17）の出席により事業計画・予算案、決算報告、50周年記念事業などにつ いて協議を行った。全ての事案が賛成多数で承認された。
第3回理事会	総務部	11	58 公益性 が無いそ 他の事 業	自主事業	主催 事業	平成29年6月10日	東京医科大学 医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	18名 18名	メールにて開催案内送 付	代議員総会での東京都理学療法士協会新体制承認を受けて、会長を含めた新執行部の選出を協議した。
第4回理事会	総務部	11	58 公益性 が無いそ 他の事 業	自主事業	主催 事業	平成29年7月7日	東京都理学療法士 協会 事務局	理学療法士 うち都士会員	25名 25名	メールにて開催案内送 付	各局部委員会報告（Stop the steps推進委員会設置に関して、都民公開講座ポスター案に関して、若手の理学療 法士及び作業療法士実務研修における名義後援承諾可否に関して、東京新聞掲載内容に関して、新人教育プロ グラムの単位認定対象学会の承認に関して、新生涯学習システムの周知に関して、ソウル市学会招待講演に関し て、各局・部員の追加承認に関して等）について話し合った。
第5回理事会	総務部	11	58 公益性 が無いそ 他の事 業	自主事業	主催 事業	平成29年9月15日	東京都理学療法士 協会 事務局	理学療法士 うち都士会員	23名 23名	メールにて開催案内送 付	各局部委員会報告（遊休財産保有制限超過に関して、新規規程および規程変更に関して、ロコモ事業に関して、 地域ケア個別会議に関して、支部の承認に関して、学会誌電子ジャーナル無料閲覧サービスに関して、各局・部 員の追加承認に関して等）について話し合った。
第6回理事会	総務部	11	58 公益性 が無いそ 他の事 業	自主事業	主催 事業	平成29年10月13日	東京医科大学 医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	51名 51名	メールにて開催案内送 付	各局部委員会報告（50周年記念式典招待者に関して、理学療法士講習会申請に関して、東京都理学療法士 協会ホームページのリニューアルに関して、特別支援学校の使用についての広報に関して、謝礼金・臨時 雇賃金規程の変更に関して、海外からの施設見学希望者への対応に関して、支部および各部員の追加承認 に関して等）について話し合った。
第7回理事会	総務部	11	58 公益性 が無いそ 他の事 業	自主事業	主催 事業	平成29年11月24日	東京都理学療法士 協会 事務局	理学療法士 うち都士会員	24名 24名	メールにて開催案内送 付	各局部委員会報告（会館積み立て準備資金計画変更に関して、平成30年度代議員選挙に関して、JPTEC協 議会主催の研修会に関して、単位認定対象学会の承認に関して、ブロック事業と支部事業の差別化に関し て、定款細則変更に関して、ブロック学会・都士会学会専用HP開設に関して、国際福祉機器展に関して、 海外からの見学に関して等）について話し合った。
第8回理事会	総務部	11	58 公益性 が無いそ 他の事 業	自主事業	主催 事業	平成30年1月19日	東京医科大学 医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	52名 52名	メールにて開催案内送 付	各局部委員会報告（会員資格規定の提案に関して、事務局における書類の保管および廃棄のルール化に関 して、新規会館積み立て計画に関して、ホームページへの代議員名簿の掲載に関して、 NHK関連事業の協力依頼に関して、介護予防事業への派遣に関する規定に関して、支部活動のパンフレッ ト作成に関して等）について話し合った。
臨時理事会（第9回理事会）	総務部	11	58 公益性 が無いそ 他の事 業	自主事業	主催 事業	平成30年3月2日	東京都理学療法士 協会 事務局	理学療法士 うち都士会員	26名 26名	メールにて開催案内送 付	各局部委員会報告（平成30年度事業計画・予算案、Facebook開設、理学療法士講習会の参加費変更、機器 開発に関する一般企業の依頼、東京都障害者スポーツ協会との発掘プログラムに関するブース開設、部名 称変更・部長交代、指定管理者「初級管理者中央研修会」の出席者の推薦依頼、日本理学療法士協会との 共催、支部活動パンフレット作製、介護予防・日常生活支援総合事業等への派遣に関する規定の作成、ブ ロック学会での学術奨励賞の授与・抄録集製作廃止、代議員の定数、介護予防のための地域ケア会議への 参画、支部介護予防事業の派遣者の承認、平成31年度東京都理学療法士学術大会の大会長選出）に関して話 し合った。
理事会の書記	書記部	11	58 公益性 が無いそ 他の事 業	自主事業	主催 事業	平成29年4月14日 平成29年5月19日 平成29年6月10日 平成29年7月7日 平成29年9月15日 平成29年10月13日 平成29年11月24日 平成30年1月19日 平成30年3月2日	東京都医科大学 (4/14、6/10、 10/13、1/19) 東京都理学療法士 協会事務局 (5/19、7/7、 9/15、11/24)	理学療法士/ うち都士会員	51名/51名 26名/26名 124名/124 名 25名/25名 23名/23名 51名/51名 24名/24名 52名/52名 26名/26名		東京都理学療法士協会の総会及び理事会においての書記作業を行った。

(公社)東京都理学療法士協会 平成29年度 事業報告

事業名	部局	定款 事業	チェック ポイント	事業	事業	期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
年賀状発行	広報局	11	58 公益性 が無いそ 他の事 業	自主事業	主催 事業	平成29年12月20日	東都リハビリテ ーション学院	理学療法士 うち都士会員数	1名 1名	会員とその他関連職種 へ郵送	年賀状を作成して関係団体に発行した。
総会資料作成	広報部	11	58 公益性 が無いそ 他の事 業	自主事業	主催 事業	平成29年5月1日	都士会事務局	理学療法士 うち都士会員数	5名 5名	都士会HP 製本した総会資料を理 事・監事・代議員に郵 送	平成29年度代議員総会資料の編集と印刷・発送作業を行った。
規約審議委員会事業	規約審議 委員会	11	58 公益性 が無いそ 他の事 業	自主事業	主催 事業	平成29年5月16日 平成29年7月22日 平成29年10月10日	東京衛生学園専門 学校	理学療法士/ うち都士会員数	5名/5名 5名/5名 5名/5名	都士会HP	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に資するため、都民を対象として本会に公益事業として求める内容について聴取する機会を設けた。合わせて、都民から理学療法に関する相談も受け付けた。都民からは、健康寿命を延ばすため地域事業でもっと理学療法士に関与して欲しい等の要望が多かった。今年度は主に個人情報保護に伴う、定款並びに規定などの規約について審議した。
代議員総会に関する事業	公益法人 推進委員 会	11	58 公益性 が無いそ 他の事 業	自主事業	主催 事業	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	都士会事務所、多 摩丘陵病院 他	理学療法士 うち都士会員数	5名 5名	都士会HP 都士会ニュース	平成28年度より開始となった代議員総会に関し、定数などの見直しを検討した。
代議員選挙	選挙管理 委員会	11	58 公益性 が無いそ 他の事 業	自主事業	共催 事業	平成30年3月	東京大学	理学療法士 うち都士会員数	3名 3名	都士会HP 都士会ニュース	各ブロックの代議員を選出する選挙を行った